

SHIZUOKA

JOURNAL

Vol.31 No.2 2021 (通巻212号)

目次

巻頭言	「雲の上はいつも晴れ」	組織理事(中部) 宿島 久志	1
会 告	第26回 静岡県放射線技師学術大会		2
	・演題募集		
	・演題区分表		
	・演題申込用紙		
	第13回静岡県MRI技術研究会(12/8)		5
	第15回医療安全セミナー(12/11)		6
	新春公開講演(1/15)		7
	令和3年度静岡県放射線技師研修会(3/19)		8
報 告	第78回超音波部会研修会(6/12)		9
	放射線技師のためのセミナー(6/26)		10
	第11回フレッシューズセミナー(7/4)		12
	令和3年度社会活動：聖隷クリストファー高校「出張授業」(7/27)		13
	第5回ワークライフバランス検討委員会勉強会(7/31)		14
学術論文	第78回超音波部会研修会(6/12)		15
連載企画	突撃！！となりの放射線科		22
お知らせ	静岡県放射線技師会事務所のメールアドレス変更のお知らせ		27
メッセージボード			28
本会の歩み			31
会員動静			32
本会への寄贈図書			33
議事録	令和3年度 第2回理事会議事録(8/28)		34
行事予定カレンダー			50



公益
社団法人

静岡県放射線技師会

『雲の上はいつも晴れ』

(公社)静岡県放射線技師会 理事(組織・中部) 宿島 久志



現在、COVID-19によって世界中の必須アイテムとなったマスク。これを着用させるにはどうすれば良いのか？各国の国民性を表現しているジョークがある。

アメリカ「マスクをする人は英雄です。」

ドイツ「マスクをするのがルールです。」

イタリア「マスクをすると異性にモテますよ。」

日本「みんなマスクをしていますよ。」

日本国民のほぼ全員がマスクを着用している。日本ではマスクをしていないと周囲の反応が怖いということだろう。これには同調圧力が働いている。同調圧力とは集団において少数意見を持つ人に対して周囲の多くの人と同じように考え、行動するよう暗黙のうちに強制すること。(アベノマスクは同調圧力を受けてなかったな。) マスク着用はエアロゾルの流出、吸入・付着を防ぐことができ、たいへん有意義なことである。当院の診療放射線技師も日常業務においてマスク着用は当然であるが、アイガードやフェイスシールドの着用も義務づけている。患者さんにも不織布マスクの着用をお願いしている。

マスクはするかしないかの2択であるから白黒つくが、「自粛」はそうはいかない。長年お世話になった先輩の送別会や新人の歓迎会も自粛。(これは院内ルールの自粛という名の禁止である。) 感染予防をしながら日常生活を送るwithコロナの時代に疲れ・不安や意識の変化が生じてきている。パンデミック下、原則無観客などの前例のない形式で東京オリンピック・パラリンピックは強行開催された。オリンピックの目的は五輪憲章にある『人間の尊厳の保持に重きを置く、平和な社会の推進』である。この理念に沿えば、開催

に疑問を感じた人は少なくないだろう。感染拡大で人々は脅威を感じ、人間の尊厳が踏みじられている。テレビでコロナ禍に苦しむ患者さんや生命を落とす人の映像が流れた後、金メダルを取った選手の姿が報じられる。これには違和感、異様感を抱いた。五輪開催反対ムードであったのに、いざ始まると懸命に頑張る選手に目がくぎ付けになり一喜一憂してしまう。五輪の空気・雰囲気流される未熟な国民性である。(私もその一人である。) 緊急事態が何度も繰り返されることによって、もはや緊急ではなくなり、日常になってしまった。状況や環境に慣れてしまい、それに対する反応が見られなくなってしまった。これを心理学的に「馴化」(じゅんか)と呼ぶ。人々は今コロナ禍に馴化し、オリンピックは特別であり人々はそちらに反応してしまった。さらには感染拡大の初期は未知のウイルスに大きな不安や恐怖を抱いていたが、次第に「外出しても感染しない。」「周囲に感染者はいない。」「コロナはただの風邪。」と楽観的になってきている。これを「楽観バイアス」と呼ぶ。

我々は厳しい現実を目の当たりにしているから馴化していないし、楽観バイアスも持っていない。とにかく今は耐えぬき、みんな頑張るしかない。先の見えない厳しい状況が長く続き、目の前には雲しかない。雲の向こうには青い空がひろがっています。止まない雨はありません。そのうち雲は流れて青空が見えてくるはずです。(今、少し雲の隙間が見えだしている。)そして、人々は青空の下で平穏無事の生活に幸せを感じるようになることでしょう。

会 告

『第26回静岡県放射線技師学術大会 演題募集』

令和4年5月29日(日)に、第11回(公社)静岡県放射線技師会定時総会及び第26回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会において研究発表演題を下記により募集いたしますので、多数の演題をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 令和4年5月29日(日)

【会 場】 プレスタワー 17階 静岡新聞ホール (予定)

〒430-0927 静岡県浜松市中区旭町11-1

TEL: 053-455-2001

【発表形式】 ① 口述発表 発表時間 7分 討論 3分

② 液晶プロジェクターを使用したPCプレゼンテーション

(Windows用Microsoft Office Power Point 2016)を基本とします。

*新型コロナウイルス感染症流行状況によりweb配信等発表形式が変更になる可能性があることをご了承ください。

【発表資格】 発表者および共同発表者は、令和3年度会費完納の会員および賛助会員に限ります。会費未納者を含む演題申し込みはできませんのでご注意ください。

【応募方法】 静放技ホームページ (<http://shizuhogi.jp>) より演題申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入したうえで、電子メールに添付し、件名に「演題申込」と明記して下記アドレスまで送信してください。

演題申込メールアドレス: endai.entry@shizuhogi.jp

【受理通知】 演題受理の通知を、申込みメールアドレスに返信します。申込み後7日を経過しても通知のない場合は、通信トラブル等考えられますので、お問い合わせください。なお、演題採用者には後日抄録集の作成に協力いただきます。

【締め切り】 令和4年1月23日(日) 必着

【お問い合わせ】

静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

(公社) 静岡県放射線技師会 TEL 054-251-5954

FAX 054-251-9690

演 題 区 分 表

演題主区分	区分番号	区 分 内 容
X 線 撮 影	A	単純・造影・断層撮影技術 アンギオ・DSA・FPD撮影技術 機器、画像処理技術、補助具 品質管理、画像評価 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
X 線 C T	B	CT撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
M R I	C	MR I撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
核 医 学	D	インビトロ（試料測定一般） インビボ（体外測定一般） 機器、画像処理技術、品質管理 放射性医薬品、臨床応用、その他
放 射 線 治 療	E	治療計画・照合・計測、照射技術 機器、補助具、品質管理 ラジオサージェリー、小線源照射、温熱療法 その他
超 音 波	F	検査技術一般、臨床応用 機器、品質管理、その他
そ の 他 の 検 査	G	骨塩定量検査・機器 体外衝撃波結石破碎装置、眼底撮影、その他
放 射 線 管 理	H	放射線管理一般、法令 被曝防護、特性・遮蔽計算その他
画 像 情 報	I	画像解析、画像評価、画像処理技術 HIS-RIS、PACS画像通信・保存、読影システム その他
情報管理・運営	J	読影補助、業務統計処理、人材育成 マネジメント、医療経営、広報、その他
ペーシェントケア	K	
感 染 対 策	L	

年 月 日

第 26 回 静岡県放射線技師学術大会

演題申込用紙 2022 年 1 月 23 日（日）必着

演 題 名 (区分番号)	() 演題区分表参照		
	所属施設・部署	会員番号(必須)	氏 名 (フリガナ)
発 表 者			
共同発表者			
演 題 予 稿 原 稿 (300 字程度に おまとめくだ さい)			
代表者連絡先	氏 名		
	住 所 〒		
	所 属		
	TEL (内線)	FAX	
	E-mail		
通 信 欄			

※ご記入内容は予稿集の作成データとなります。お間違えございませんようお願いいたします。

送付先 E-MAIL : endai.entry@shizuhogi.jp

TEL : 054-251-5954

会

告

『第13回静岡県MRI技術研究会 開催案内』

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。このたび下記の通り「第13回静岡県MRI技術研究会」をweb開催することになりました。開催内容は「造影MRI検査」です。今回は平日夜間帯での開催となります。皆様の参加をお待ちしております。 敬具

記

【日 時】 令和3年12月8日(水) 19:00~20:50予定

【配信ツール】 ZOOM Webinar (web会議ツール) ※参加の際はインストールをお願いします。

【定 員】 500名 (先着順、定員になり次第募集を終了します。)

【参 加 費】 無料

【参加登録方法】 静岡県放射線技師会HPの会告・セミナーの参加申込フォームよりお申し込み下さい。

(URL: <http://shizuhogi.jp/i/seminar>)

※参加URL・ミーティングID・パスワードは申し込み後、登録されたメールアドレスに送信予定

【参加申込期間】 確定次第、静岡県放射線技師会HPにて公開予定 (<http://shizuhogi.jp/>)

【内 容】

テーマ「MRIの造影検査」

1. 会員発表 (タイトル未定)

「骨盤部造影検査」

順天堂大学医学部附属静岡病院

清水 匡大 会員

「肝臓造影検査」

磐田市立総合病院

望月 健裕 会員

2. 教育講演

「頭部造影MRIの読み方：明日の診療で役立つ読影のポイントとピットフォール」

藤田医科大学医学部 先端画像診断共同研究講座 准教授 村山 和宏 先生

※本会は、日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定研究会です (更新点数5単位)。

開催時間(19:00-終了)のうち90%以上の参加が必須となり、参加時間は各自のアカウントのアクセス時間で管理します。規定の参加時間を満たした方にのみ出席証明書を後日送付します。

※本会は、日本救急撮影認定機構の認定講習会です (2単位)。

※出席証明書は、認定単位取得の証明に使用できます。

(公社) 静岡県放射線技師会MRI部会/ゲルベ・ジャパン株式会社
以上

会 告

『第15回医療安全セミナー開催のお知らせ』

第15回目の開催となる今回のテーマは、“画像診断レポート未読影対策”についてです。

画像診断レポートの記載を見落とししたことにより、患者が死亡する事例が後を絶ちません。緊急度の高い所見や重要所見に対して必要な対応を取るために、組織的な伝達、確認体制の構築が必要となります。

本セミナーでは重要所見見落としの現状、最新のインフラシステムの紹介、各施設での取り組みを共有することによって、未読影対策の向上を目指していきます。

【日 時】 2021年12月11日(土) 15:00～17:00

【場 所】 WEB開催 (ZOOM)

【参加費】 無料 *定員100名(先着順。定員になり次第に募集を終了します。)

【申し込み】 静岡県放射線技師会のホームページの会告・セミナーの参加申し込みフォームよりお申し込みください。

申し込み期間：2021年11月22日～2021年12月10日

【注意事項】 静岡県放射線技師会ホームページの会告・セミナーの参加者用簡易マニュアルを、ご参照ください。

【内 容】

14:30～15:00 ZOOM入室可能

15:00～15:50 講演 「医療の質・安全性の向上と働き方改革を推進する統合診療支援プラットフォームについて」

富士フィルムメディカルITソリューションズ株式会社 平川 毅 氏

***** 休憩 *****

16:00～17:00 会員発表「各施設における画像診断レポート未読影対策の現状」

・当院におけるレポート見逃し対策の現状

島田市立総合医療センター(中部) 宿島 久志 会員

・レポート既読システム導入の経緯と課題

国際医療福祉大学熱海病院(東部) 杉村 俊樹 会員

・画像診断報告書の確認不足防止に向けた取り組み ～富士フィルム社製「CITA」既読管理機能～

聖隷三方原病院(西部) 中野 仁 会員

17:00 終了予定

*セミナー受講者には、日本診療放射線技師会学術カウントが付与されます。

*セミナーに関わる著作権、商標権などの知的財産権その他の権利を侵害する行為およびデータの撮影、録音、録画、その他の不正利用を固く禁じます。

【問い合わせ先】 医療安全推進委員長 中村 文俊(浜松医療センター 診療放射線技術科)
TEL: 053-453-7111(代表)

会 告

『新春公開講演会開催』

新型コロナウイルス感染症の流行は増減を繰り返し、その影響は2年に達しようとしています。一変した私たちの生活様式も、ワクチン接種の普及、治療薬の出現等により徐々に変化し始めようとしており、web配信型が主流となった講演会も、Hybrid開催へと変化しています。今回の新春公開講演会はweb配信と共に、参加人数を制限した会場型開催によるHybrid講演会を予定し、感染状況に配慮した形式として開催を予定します。

公開講演では「(仮)乳がん検診の現在～無痛MRI乳がん検診とは～」を予定し、新たな乳がん検診を県民の皆様にご紹介いただくと共に、新型コロナウイルス感染症の流行により落ち込んだ受診率の向上に貢献できればと考えます。教育講演では、日本診療放射線技師会 副会長より、診療放射線技師法改正の意義、告示研修の概要、そして診療放射線技師の未来について語っていただき、私たち診療放射線技師の方向性を学んでいただきたく計画しております。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 令和4年1月15日(土) 13:00～16:30

【場 所】 静岡第一ホテル 静岡市駿河区泉町1-21 2階 富士の間 もしくは 2階 駿河の間

* 新型コロナウイルス感染状況に配慮し、現地出席者の人数を制限いたします

* 後日、静岡県放射線技師会ホームページ上に参加申し込みURLを掲載

【参加費】 無料

【内 容】

13:30～ 会場受付 / web会場オープン

13:55～14:00 会長挨拶

14:00～15:00 公開講演

「(仮)乳がん検診の現在～無痛MRI乳がん検診とは～」

講師：東海大学 工学部/医用生体工学科 教授 高原 太郎 先生

座長：浜松市リハビリテーション病院 永峯 岳樹 会員

15:00～15:15 休憩

15:15～16:15 教育講演

「(仮)診療放射線技師免許アップデート～現状と未来～」

講師：公益社団法人 日本診療放射線技師会 副会長

新潟医療福祉大学 診療放射線学 教授 児玉 直樹 先生

座長：聖隷三方原病院 中村 陽子 会員

※引き続き親睦会（アール祭）を開催予定としています。詳細につきましては別紙会告にてご確認ください。

* 技師会員はJART会員証 または 県技師会IDカードをご持参ください。

会 告

『令和3年度 静岡県放射線技師研修会』

近年、医療を取り巻く環境が激変する中、赤字病院の割合が高まるなど病院経営は厳しさを増しています。今回の研修は、経営に参画できる診療放射線技師の育成を目的としたマネジメント研修会を開催いたします。つきましてご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 2022年3月19日(土) 14:00～16:15 (受付開始13:30～)

【参加費】 無料 ※事前参加登録制 定員100名(先着順)

【事前申込】 令和4年2月18日(火)～令和4年3月18日(金)

【申し込み方法】 今回の研修会はzoomによるweb開催となります。静岡県放射線技師会ホームページ、セミナー参加申込フォームよりお申込みください。

【内 容】 13:30～ 受付開始

14:00～ 開会挨拶&webセミナーにおける注意事項

沼津市立病院 杉山 哲一 会員

1. 14:05～ メーカー講演

座長: 聖隷健康診断センター 杉浦 康行 会員

・「画像診断装置の稼働データ統合と利活用～生産性の向上と働き方改革を見据えて」
GEヘルスケアジャパン エジソン・ソリューション本部シニアプロダクトマネージャー

秋山 謙作 氏

・「医療デジタル化によるワークフローの改善および人口知能技術を用いた画像診断・治療計画支援」

シーメンスヘルスケア株式会社デジタルヘルス&SYNGO事業部AIプロダクトマネージャー

岩田 和浩 氏

・「LEANを活用した業務改革とヘルスコンティニウムの実現に向けて」

株式会社フィリップス・ジャパン HTSコンサルティング部 部長

北原 雄高 氏

2. 15:30～ 特別講演

座長: 市立島田市民病院 佐藤 正和 会員

「静岡県放射線技師会の現在とタスクシフトから見る未来像について」

講師: 公益社団法人静岡県放射線技師会 山本 英雄 会長

16:15 閉会予定

・当研修会は日本放射線学会学術研修ポイント対象研修となります。

公益社団法人静岡県放射線技師会企画調査委員会

第78回超音波部会研修会 報告

令和3年6月12日(土) 14:00～17:00
静岡県放射線技師会事務所(web開催)

6月12日に今年度初めての超音波部会研修会が開催されました。部会発足当初から、毎年欠かさず開催されてきましたが昨年はSARS-Cov-2の影響で合同部会への参加のみで単独開催は行うことができませんでした。昨年早々にZOOMを用いたweb開催の体制を静岡県放射線技師会で整えていただき、部会役員も何回かweb開催の研修会などに参加したことで多少の経験を積み、他の部会に遅れてしまいましたがようやく超音波部会でも研修会のweb開催にこぎつけることができました。

今回のテーマを「術後の超音波検査」としました。静岡県立総合病院 小田会員による四肢血管の症例報告、静岡がんセンターの米山先生による「腹部悪性腫瘍の術後超音波検査」、乳腺画像部会 竹山部会長(中東遠医療センター)による「乳腺の術後超音波検査」、藤田医科大学病院 神野先生による「SHD(Structural Heart Disease)術後の超音波検査」と全身を対象とした研修会となりました。どの領域も術後の検査といっても当然、術前の評価から熟知している必要があり、基本的な技術、知識をベースに求められる応用的な技術と知識へ系統的にまとめられた講演を聴講することができました。

今回、超音波部会としては初のweb開催という事でテスト的な意味合いの強い研修会となりました。すべて手探りの状態で高橋副技師会長、佐野広報理事に多大なるご協力をいただきました。広報も不十分な中、県外を含め50名程度の参加がありました。改めてweb開催の可能性を知ることでなりました。SARS-Cov-2の感染状況が落ち着いた後もハイブリッド形式を含めweb開催は続け

ていく必要があると思われました。次回は参加料をいただけるような質の高い運営での研修会の開催を目指してきたいと思います。

超音波部会 中村

第44回放射線技師のためのセミナー 報告

令和3年6月26日(土)
Web開催

令和3年6月26日(土)に「第44回放射線技師のためのセミナー」をWebで開催いたしました。令和2年4月から施行された医療法施行規則一部改正では「医療放射線に係る安全管理」が追加されました。管理士部会はこれまでに改正法令に関する内容でセミナーを開催してきました。そこで、改正法令施行から1年が経ち、各施設での実際の取り組みや問題点等の共有を目的に、また、新たにDRLs2020が公表されましたのでテーマを「医療放射線に係る安全管理」とし、会員発表、特別講演を行いました。

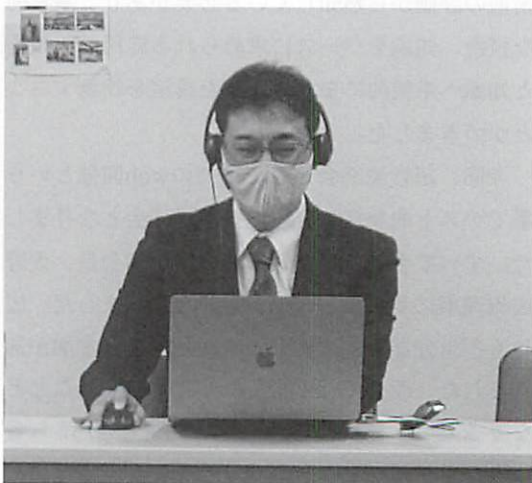
会員発表では「医療法改正による医療放射線安全管理の現状」をテーマに中東遠総合医療センターの黒田紗弓会員、静岡市立静岡病院の山内達也会員、聖隷沼津病院の原田真会員の3施設の会員に、診療用放射線に係る安全管理での医療放射線安全管理責任者の配置、指針の策定、線量管理・記録、診療放射線の安全利用に関する研修、診療用放射線の安全利用のための方策の実施などの取り組みについて発表をいただきました。



各施設とも医療法改正に対して十分な準備と委員会を中心とした活動が行われていると感じました。また、医療放射線安全管理責任者が医師ではない場合の正当化に関する研修、コロナ禍による

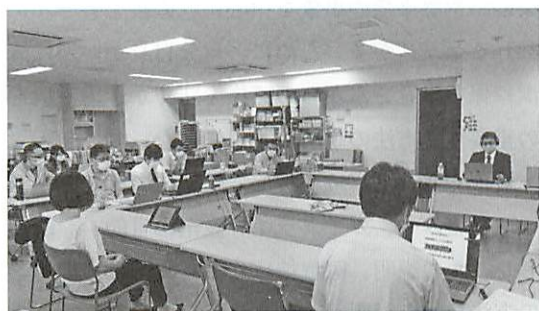
研修方法の再考、検査説明や被ばく相談に関する診療録への記載などの課題もありました。診療用放射線に係る安全管理については私たち診療放射線技師が主に活動しているのが現状と思われますが、検査説明など各診療科での対応についての調査が必要と感じました。

特別講演は、このたび2020年の診断参考レベル(DRLs2020)がDRLs2015から改訂されたことから、セントメディカル・アソシエイツの広藤喜章先生をお招きして、「DRLs2020の概要～最近の放射線防護の動向と共に～」と題して講演していただきました。診断参考レベル(DRL)の意義、概念、DRL値の設定方法、自施設での使用方法についてや、DRLに関する注意点として標準体型の患者に対する値であること、優劣境界として用いるべきではないこと、国や地域ごとに設定されるべきことが挙げられるなどのお話がありました。また、DRLs2020で公表された7つのモダリティについてのDRL値やDRLs2015との比較、現場での線量調査、DRLsに関するQ&Aなど丁寧



に解説していただき、DRLsが線量最適化への1つのツールであることを改めて感じました。また、DRLsだけでなくICRP Publ.147での提言やNCRPの生殖腺防護に関する声明など最新トピックスも取り上げていただき、DRLs2020の解説から最近の放射線防護の動向まで非常にわかりやすくお話しいただきました。

今回もWeb開催ということでまだまだ不慣れな面もありましたが、土曜日の午後という貴重な時間にも関わらず62名（静放技会員58名、その他4名）の方にご参加いただきました。今後も多くの会員の皆様にご参加いただけるような内容を企画して参りたいと思います。最後に、参加していただいた会員の皆様、ならびにご講演していただいた皆様に厚く御礼申し上げます。



管理士部会 勝浦拓也

第11回 フレッシュャーズセミナー 報告

令和3年7月4日(日)
アルフレッサ静岡支店会議室

令和3年7月4日にアルフレッサ静岡支店会議室にて、第11回フレッシュャーズセミナーを開催しました。

本セミナーは日本診療放射線技師会が主催し、各県放射線技師会において平成23年度より毎年開催されています。

日本診療放射線技師会は平成13年度、会員数が約32000名であったのですが、ここ数年で団塊の世代の方々の退職や技師会離れが進み、現在では28000名程度と減少してきています。これは静岡県においても同様です。この状況に歯止めをかけるべく、特に新人の方を対象とし、技師会活動の理解を深めていただくこと、また医療者として必要な基礎知識を身につけ、医療及び保健・福祉の向上に努めることを目的として開催しました。

会場+Webのハイブリット形式で開催しました。参加者は会場4名、Web22名の計26名でした。昨年度は開催できなかった為、卒後1年目と2年目を対象に募集をしました。もちろんJARTの会場型講習会開催ガイドラインに基づいて感染防止に努め、最善の注意を払い開催しました。内容としては、入会案内、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、感染対策、被ばく低減でした。

入会案内は、山本英雄会長から職能団体としての日本診療放射線技師会の活動、静岡県放射線技師会の歩みや会員の動向及び会費についての説明があり、会員になって頂けるように働きかけがありました。

エチケット・マナー、医療コミュニケーション講座では身だしなみや挨拶など基本的なことを中心に、対応する技師の接遇によって与える印象が

様々であることや、電話の対応、電子メールの書き方などの説明が行われました。

医療安全講座では、基本的な考え方や医療安全の確立における今までの経緯を説明し、過去に報道された事例の紹介、講師自身が体験した事例を紹介しました。身近な事例を知ることにより、医療事故の発生率や重篤度を抑制できるなどの説明がされました。

感染対策講座では、空気、飛沫、接触による感染経路や感染症の事象を中心に、直接患者さんに触れるケースが多いために、自分自身がいかに清潔に保ち患者さんからの感染を防ぐか、手指消毒の重要性と方法の説明がされました。

被ばく低減講座は、被ばく低減に向けた今までの取り組みや、ガイドライン設定の目的、診断参考レベルの説明、医療被ばく相談に向けての対応の方法などの説明がされました。

これらの内容は、勤続年数に関係なく知っておかなければならない事であり、常に必要な知識でもあります。来年度は新卒者だけではなく、幅広く参加者を募っていきたいと思いますので、皆様に興味を持っていただき、魅力ある内容で開催できるようにしたいと思います。



生涯教育委員 曾我 隆正

聖隷クリストファー高校「出張授業」 報告

令和3年7月27日(火)

学校法人聖隷学園聖隷クリストファー中・高等学校

令和3年7月27日に聖隷クリストファー中・高等学校において出張授業を行いました。静岡県放射線技師西部地区会では公益事業として、例年地域のふれあい祭りに参加し、放射線診療について理解を深めて頂くため地域の住民を対象とした活動を行って参りましたが、新型コロナウイルスの感染状況の拡大により活動ができない状況が続いていました。このような社会情勢においても公益活動については実施をしていきたいと考え、今年3月、聖隷クリストファー高校様へ訪問し、当会の活動および公益事業に対するご理解を頂き、このたび出張授業が実現しました。

参加者は事前にアンケートを行い、今回の授業への参加を希望した高校1年生27名でした。

内容は、講義とワークステーションの実演を行いました。講義は、①放射線とは ②診療放射線技師とは ③診療放射線技師の業務における各モダリティの紹介を行い、その後ワークステーションを用いた画像再構成についての実演を行いました。



①では放射線の種類、放射線が身体に影響を与える仕組みについて説明をしました。なるべく専門用語を使用せず、特に放射線が身体に影響については、東日本大震災での福島第一原発の事故時の状況なども交えながら説明しました。②では、診療放射線技師ができる独占業務の内容やその意義について説明し、診療放射線技師になる

ためにはどのような進路を取れば良いのか、大学や専門学校の内訳や入試のポイント、学費など、これから診療放射線技師を目指すための予備知識を持ってもらえる内容としました。③では各モダリティの検査目的や撮影装置、診断に使用する画像などを紹介しました。さらに、PACSや造影検査についても説明し、最後にワークステーションを用いて実際の画像再構成方法について実演を行いました。本来であれば生徒のみなさんに操作をしてもらいたいと考えていましたが、今回は非常に多くの参加者となり、3グループにわかれて約5分ずつ、画像の再構成について説明しました。

参加した生徒のみなさんはとても真剣に講義を聴講していました。また、ラジエーションハウスの話をしたときなどは笑顔で質問に答えてもらうなど楽しんで授業を受けて頂けたと思います。

今回、このような場を提供いただきました聖隷クリストファー高校の関係者のみなさま、当日対応頂きました大石一男先生、ワークステーションの設置、準備にご協力を頂きましたGEヘルスケア・ジャパン株式会社に深謝いたします。



西部組織理事 小林秀行

第5回ワークライフバランス検討委員会勉強会 報告

令和3年7月31日(土)
Web開催

令和3年7月31日に第5回ワークライフバランス検討委員会勉強会をWeb開催しました。

勉強会には29名参加していただき、埼玉県や石川県など他県からの参加者もいらっしゃいました。

今回「理学療法士が教える 正しい知識で無理なく安全に！トランスファー」と題し、浜松市リハビリテーション病院理学療法士の河上 智先生と安井 萌先生をお招きしご講演いただきました。

私たち放射線技師は検査や治療を行うにあたって、患者さんを介助する場面が多くあります。しかし介助方法を学ぶ機会はなかなかないため、放射線技師だけでなく介助される患者さんにも負担になっていることがあります。今回の講習会では介助時の身体の使い方を考え、お互いの身体に無理をかけず、負担の少ない介助の獲得を目標に、患者さんを起こす起居動作と検査台から車椅子へのトランスファーを学びました。

まず始めに基本技術として、①自分の姿勢（主に体幹）を安定させ、動きやすい状態を作る。②対象者に近づく。③手の力で介助動作せず、重心移動を利用する。④1人で難しい場合は無理をしない。⑤コミュニケーション「説明と同意」を忘れない。⑥安全管理などを学びました。

起居動作では①側臥位の状態から起きる。②下肢を先にベッドから降ろし、足の重さを利用し身体を起こす。③肘関節を軸に円を描くように起こす。以上3つのポイントを意識することで、無理に力を入れずに楽に起こすことができるそうです。実技ではさまざまな方向から起居動作を見せることで視聴している参加者の皆様にも分かりやすく実演していただきました。

検査台から車椅子へのトランスファーでは①座面の高いところから低いところへトランスファーする。②車椅子のアームレス跳ね上げ機能等を利

用する。③患者さんの両膝を介助者の膝で固定する（以下膝ロック）。④重心移動を利用する。以上4つのポイントを学びました。③の膝ロックを初めて知る参加者が多く膝の固定を中心に実技を行いました。私は実際患者役で膝ロックを体験しましたが、両足がしっかり固定されるため、身体の重心がぶれることなく安定したトランスファーで驚きました。

今回の勉強会は参加者の皆様と一緒に実践できればよかったのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でWeb開催となってしまいました。ですが、講師のわかりやすい講義、実技と参加者の皆様の積極的な質問により有意義な勉強会となりました。参加者の皆様には今回の勉強会の動画配信をしますので、ぜひ臨床の現場で実践してみてください。

最後に当勉強会の開催にご協力いただきました浜松市リハビリテーション病院の皆様ありがとうございました。

これからもワークライフバランス検討委員会では、年齢・性別・役職問わず皆さんが働きやすい職場環境に向けて情報提供していきますので、ご意見、ご要望がございましたら、ぜひご連絡ください。お待ちしております！



ワークライフバランス検討委員会 山本 瑞希

第78回超音波部会研修会

慢性下肢虚血治療後の合併症

静岡県立総合病院 放射線技術室

小田幸佑 鈴木奈緒 川口彩子 早坂みさを 中村元哉

【はじめに】

今回我々は慢性下肢虚血(CLI)治療後の超遅発性ステント内血栓症の1例を経験し、若干の知見を得たので報告する。

【症例】

60代、男性

【既往歴】

左浅大腿動脈のCLIに対し、薬剤溶出性ステント(DES)を使用した経皮的血管形成術(PTA)施行。

【主訴】

PTA15ヶ月後に歩行途中に左足が張るように感じ歩行困難になる症状が再燃し、再閉塞もしくは再狭窄が疑われたため超音波検査が施行された。

【超音波所見】

長軸像で浅大腿動脈起始部よりカラードプラにて血流信号が途絶し、内部に充実性エコーを認めた(Fig.1)。短軸像で血管径が拡大し(Fig.2)、ステント周囲に低エコー域を認め(矢頭)、内部にさらにエコー輝度の低い部位を認めた。ステント遠位で側副血行路により血流が再開し、抹消まで血流が保たれていた。膝窩動脈の血流波形は狭窄後波形を呈していた。

超音波検査ではステント留置部の再閉塞と血管リモデリングが疑われた。

【経過】

下肢アンギオで再閉塞を認め(Fig.3)、Re-PTAとなった。血栓除去を施行すると通常とは性状が異なるdebris様血栓(Fig.4)を多量に認めたため、内科的治療ではなくbypass術による血管再建が行われた。

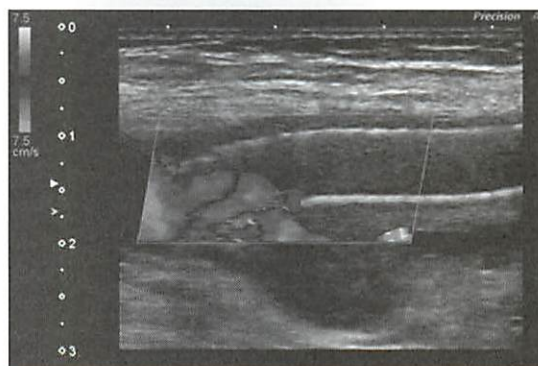


Fig 1. 浅大腿動脈起始部長軸像

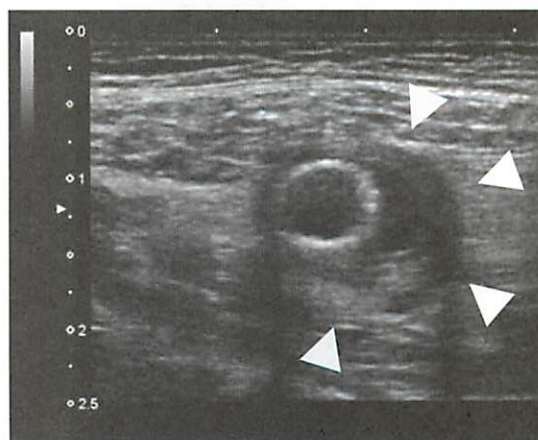


Fig 2. 浅大腿動脈ステント部短軸像

【考察】

当院におけるPTA後の下肢動脈超音波検査では、主に長軸像のBモードやカラードプラでステント内狭窄や閉塞の有無をチェックしている。本症例では長軸像でステント内の血流欠損を認め、閉塞所見であった。また短軸像ではステントと血管の間に低エコー域を認め、圧着不良を起こしているようにみえた。当院のルーチン検査ではステ

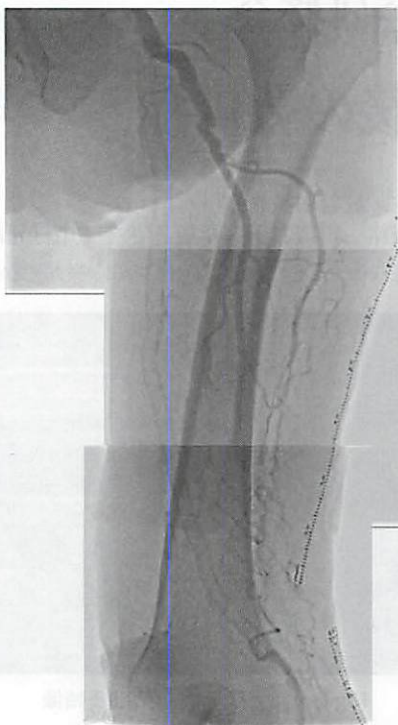


Fig 3. アンギオ像

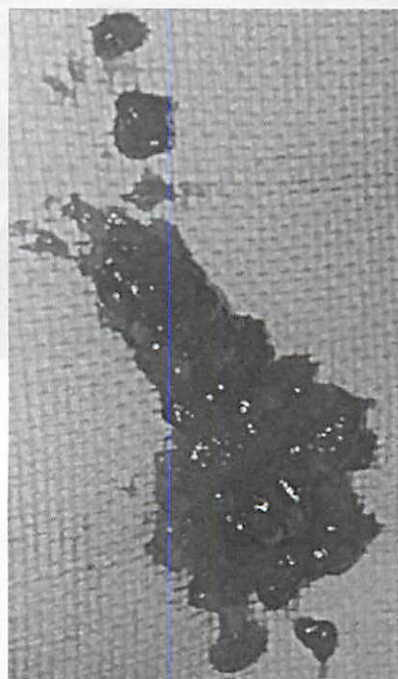


Fig 4. 吸引血栓

ント内の情報を重要視しているため、今回のような閉塞症例で短軸像は重要視されていなかった。まずは血管リモデリングを伴う再閉塞が考えられたが、吸引された閉塞物質の性状からは典型的な血栓閉塞とは言えなかった。冠動脈等で報告されているPSS (peri-stent contrast staining) の可能性も示唆されたが診断には至っていない。しかしステントと血管の間の低エコー域はステント留置時には認めなかった所見であるため、本症例のイベントに関与していると考えられた。

この症例を経験し、ステント留置した症例における短軸像の重要性を再認識した。当院ではステント周囲の情報を見逃さないようにするため、ステント留置した症例では短軸像での評価もPTA後のルーチン検査に必須とした。

【結語】

ステント留置後の下肢動脈超音波検査では、長軸像によるステント内評価だけでなく、短軸像によるステント周囲の詳細な観察が必要であると考ええる。

【参考文献】

- 1) Inoue K: Pathologic studies of vascular responses to drug-eluting stent implantation. JJpn Coron Assoc 2008;14;36-41
- 2) M Yamagishi el.: 111th Scientific Meeting of the Japanese Society of Internal Medicine: Educational Lecture:12.Percutaneous coronary intervention and optimal medical therapy. The Journal of the Japanese Society of Internal Medicine 2014;103(9);2307-2313
- 3) K.Matsumoto, el.: A case report of late acquired peri-stent contrast staining seven years after sirolimus-eluting stent implantation. SHIKOKU ACTA MEDICA 2014;70(3,4);93-98

第78回超音波部会研修会

乳がん術後の超音波検査

中東遠総合医療センター 竹山 有希

乳癌診療において、乳腺超音波検査は他の検査と比較し、放射線被曝や薬剤暴露がなく、コスト負担も少なく、非侵襲的である。そのため、初回受診時にはマンモグラフィ検査と併せて行われ、また経過観察にも用いられやすく、重要な役割を担っている。

超音波検査の主な役割は、良悪性の判断、広がり診断、超音波ガイド下生検、術前化学療法の効果判定、術前マーキングである。

乳腺超音波検査の基本

検側乳房が胸郭の上に均等なるように下に枕を入れる
乳頭が乳房全体のほぼ中央、頂上になるように
ビームは皮膚に垂直に
鎖骨から乳房下部まで広い範囲を走査
ゼリーはたっぷり

タオルやワッシャーを
入れて、
反対側にはタオル等を
かけて



乳癌の診断された後の超音波検査は術前のマーキング、術後残存乳腺の経過観察、対側のスクリーニング、術前化学療法の効果判定がメインとなる。術後の検査時では以下のことに注意をして検査しなければならない。部分切除の場合は残存する乳腺の局所再発の有無、所属リンパ節転移の有無、対側乳腺の新規病変の出現。

そして、部分切除の場合は放射線治療により皮膚がもろくなっている場合があるため、皮膚を傷つけないように注意をして検査しなければならない。

また、デリケートな部分の検査であるため、タオルをかける等の配慮を忘れてはいけない。

術後瘢痕



境界、辺縁
後方エコー
周囲乳腺との連続

術後の検査でしばしば遭遇するのが術後の瘢痕である。不整形な腫瘤様や低輝度域として描出され、判断に苦慮する場合がある。その場合、境界や辺縁、後方エコー、周囲乳腺との連続性を確認することが重要である。また、局所再発を疑う場合は病変の性状が原発と類似していることが多いため、画像を比較することも重要である。

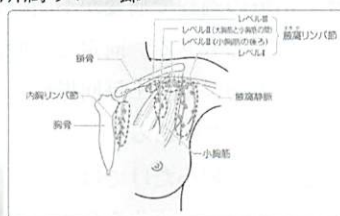
症例①

2013年9月 2017年11月



原発と比較する

所属リンパ節

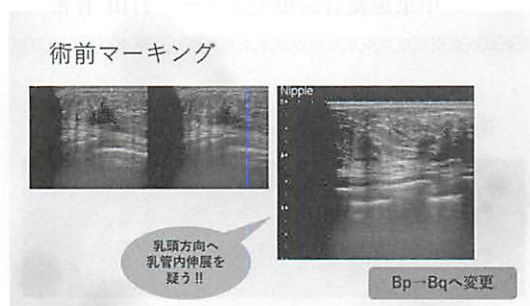


日本乳癌学会ガイドラインより

乳腺の所属リンパ節は腋窩リンパ節、鎖骨下リ

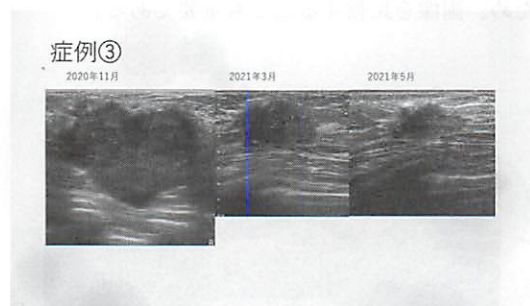
リンパ節、胸骨傍リンパ節がある。リンパ節はリンパ門の有無、形状、エコーレベルを観察する。

局所再発を疑う場合、病変の形状は原発を類似するため、過去画像を参照し比較する。



術前マーキングでは手術と同体位で行うことが重要である。そのため、外科医と検査時の体位や方法を決めておく必要がある。

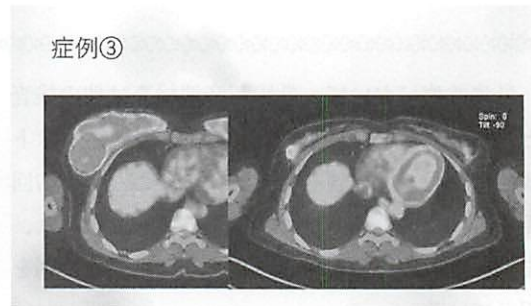
また、初回の検査から手術まで数週間、場合によっては数か月かかる場合がある。病変が変化している場合があるので、注意しなければならない。大きさ、乳頭からの距離、形状を比較し観察を行った後、病変にマークしていく。



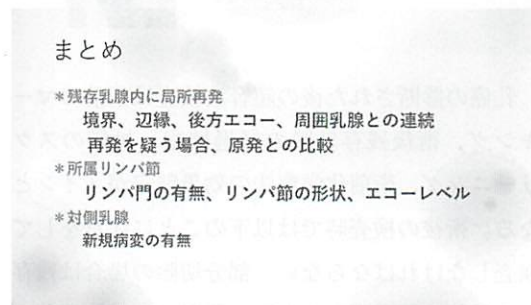
術前化学療法を行う場合、治療の効果判定に超音波検査が用いられる。大きさや形状、辺縁を比較し判定を行う。治療の過程で病変が不明瞭となり描出が困難になることもある。同定を可能にするために乳頭からの方向、距離を毎回撮影し、レポートに記載しておく必要がある。

薬剤の効果を認めると縮小だけでなく、病変部分が不明瞭になったり、繊維化を起こしたり、内部が壊死を起こしたりと、画像上様々な形態を示す。今後、画像で病理学的完全奏効(pCR)が評

価可能となれば、化学療法と放射線治療のみで切除不要な症例も出てくる可能性がある。そのため、広がり診断として有用である造影MRIと併せて超音波検査が効果判定の重要な役割を担っている。



浸潤性乳癌術後患者は術後10年間で10～22%に同側再発があるとされ、また対側乳房の乳癌も10%程度発生することが知られている。乳癌術後の超音波検査には再発や新規病変の出現に注意が必要である。また、術後の経過観察はCTやマンモグラフィといった他のモダリティと併せて行われる場合があるため、他のモダリティで所見を指摘された場合は必ず画像を参照し、検査に臨まなければならない。



第78回超音波部会研修会

Structural Heart Disease 術後の超音波検査

藤田医科大学病院 臨床検査部 / SHDハートチーム 神野 真司

静岡県放射線技師会 第78回 超音波部会研修会
2021年6月12日

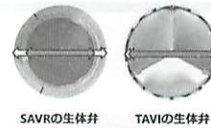
Structural Heart Disease 術後の超音波検査

藤田医科大学病院 臨床検査部 / SHDハートチーム
神野 真司

利益相反開示
清聴発表に関連し、開示すべきCOI状態はありません。

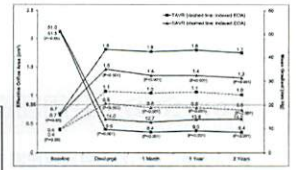
FUJITA HEALTH UNIVERSITY HOSPITAL

TAVI弁の種類 | 従来の人工弁との違い



SAVRの生体弁 TAVIの生体弁

TAVIではローイングカフをもたない low profileの人工弁が用いられるため SAVRとくらべてPPMの発生率が低い
狭小弁輪を有する高リスク症例において TAVIはより安全で治療効果の高い選択肢となり得る



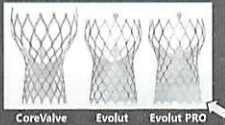
Ann Thorac Surg. 2018;100(1):117-121

TAVI弁の種類

バルーン拡張型
Edwards社製
通称：サビエン
ウシ心のう膜弁



自己拡張型
Medtronic社製
通称：コアバルブ
ブタ心のう膜弁

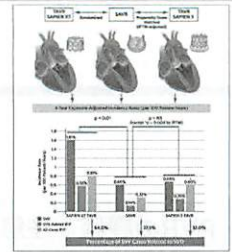


アウトースカート
TAVI後にみられる弁閉鎖逆流を
低減させるため

TAVI弁の種類 | 耐久性

弁の耐久性？

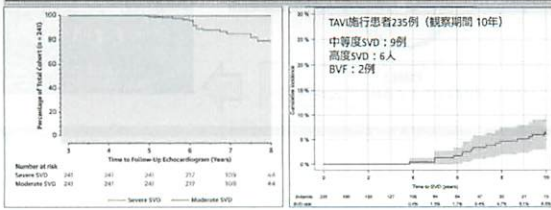
弁の異質
人工弁構造的劣化
structural valve deterioration ; SVD
血栓弁や心内膜炎を除いた、弁そのものの異常を表す



J Am Coll Cardiol. 2020;106(16):1670-1678

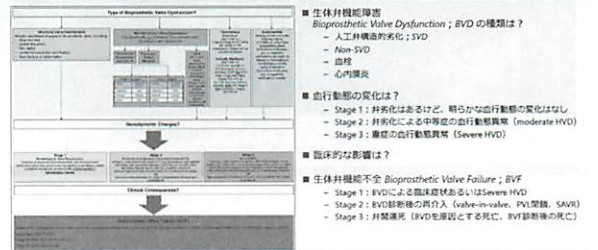
TAVI弁の種類 | 耐久性

TAVI後 4、5年以降からSVDが現れる



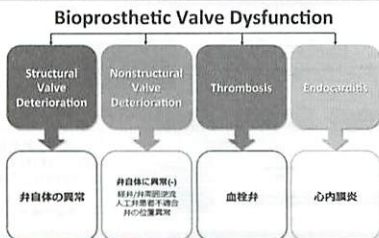
J Am Coll Cardiol. 2018;102(1):111-118. Catheter Cardiovasc Interv. 2021;16(7):1041-1047

新しい生体弁の定義 | VARC-3 update



Eur Heart J. 2021;42(15):1372-1378

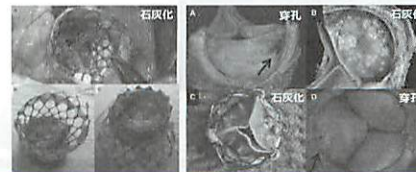
生体弁機能障害 ; BVDの種類



Eur Heart J. 2021;42(15):1372-1378

人工弁構造的劣化 ; SVD

■ 生体弁に異常を認める
- 人工弁弁尖の構造的異常



Structural Valve Deterioration
Intrinsic permanent changes of the prosthetic valve (i.e., calcification, leaflet thickening, tear or fold) leading to degeneration and/or haemodynamic dysfunction

Eur Heart J. 2015;36(1):107-116

Non-SVD

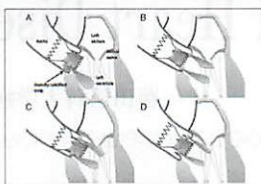
- 生体弁自体に異常なし
- 非構造的な人工弁変性

- ✓ 弁逆流（経弁、弁周囲）
- ✓ 弁の位置異常
- ✓ PPM
- ✓ late embolization

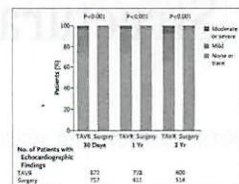
Nonstructural
Valve
Deterioration

Any abnormality not
attributable to the prosthetic
valve itself (i.e., intra- or
para-prosthetic
regurgitation, prosthesis
malposition, patient-
prosthesis mismatch, late
embolization leading to
degeneration and/or
dysfunction)

Non-SVD | 弁周囲逆流 (PVL/PVR)



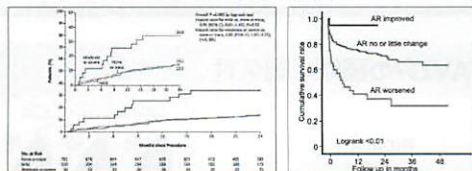
弁輪・弁葉の石灰化
TAVI弁の位置（浅い/深い）
TAVI弁のサイズが小さい拡張が足りない



TAVIは
SAVRと比較してPVRが多い

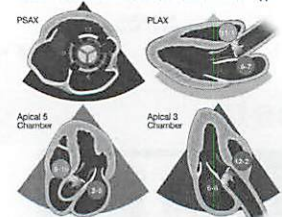
Non-SVD | 弁周囲逆流 (PVL/PVR)

- TAVI後に見られる弁周囲逆流 (PVL/PVR)
- 中等度以上になると予後と関連する
- 軽度でも術前よりARが増大していると予後不良

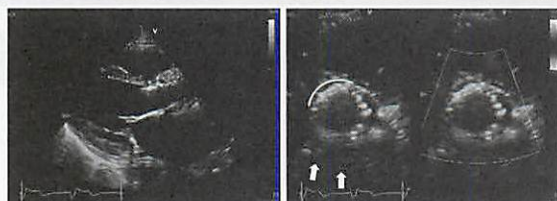


PVL/PVRの評価 | 多断面で評価

Detection of Paravalvular AR after TAVI with Color Doppler

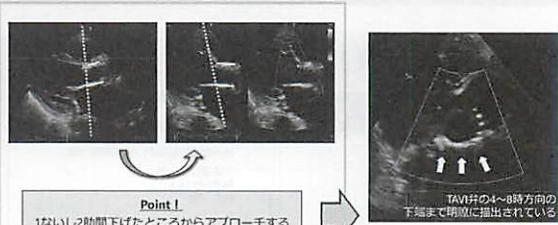


PVRの評価 | 注意点①



TAVI弁および弁輪/弁尖の石灰化のアーチファクト（自音陰影）により、
4～8時方向のPVRを見落とす可能性も

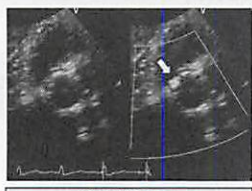
PVRの評価 | 注意点①



Point I
1ないし2肋間下げたところからアプローチする

TAVI弁の4～8時方向の
下端まで明確に描出されている

PVRの評価 | 注意点②

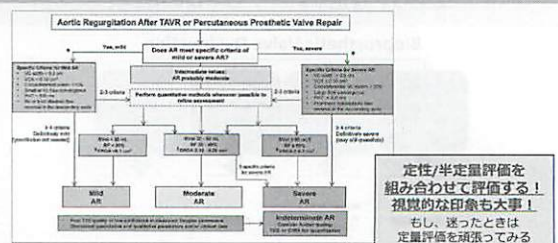


明瞭に描出できていても
PLAX・PSAXでは
3時・9時方向は見逃しやすい
↓
心高部アプローチ
心尖部五腔断面



9時方向からPVR
VCW: 0.3cm → moderate
PLAXで見えていたのは、このjetの先を見ていた

PVL/PVR | 評価方法



定性/半定量評価を
組み合わせて評価する！
視覚的な印象も大事！
もし、迷ったときは
定量評価を頑張ってみる

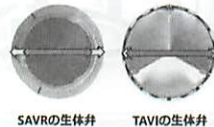
Non-SVD | 人工弁患者不適合 ; PPM

■ 人工弁患者不適合 *prosthesis-patient mismatch* ; PPM

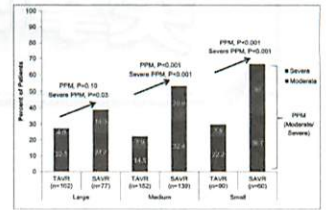
- 体格に比較して小さな有効弁口面積 (EOA) しか取れない弁が移植された場合に診断する
- 術後早期に比較的高い経弁圧較差が記録されるような場合には PPM を疑う

Prosthesis-Patient Mismatch	
if EOA < 20 kg/m ²	if EOA < 25 kg/m ²
Severity	Severity
EOA	EOA
Pressure	Pressure
Flow	Flow

TAVI弁の種類 | 従来の人工弁との違い



TAVIの生体弁は、
PPMの頻度が少ない



TAVI弁の種類

SAPIEN XT (前モデル) vs SAPIEN 3 (現モデル)

Table 4 Haemodynamic comparison of XT-THV vs S3-THV at 1-month follow-up according to valve size

	XT THV SIZE			S3 THV SIZE		
	XT 23 mm	XT 24 mm	XT 25 mm	S3 23 mm	S3 24 mm	S3 25 mm
EOA	1.76 ± 0.47	1.93 ± 0.49	3.4	1.45 ± 0.4	1.87 ± 0.14	1.77 ± 0.46
EOA	1.12 ± 0.3	1.16 ± 0.3	1.9	0.87 ± 0.25	1.04 ± 0.25	1.06 ± 0.32
Stroke volume index	51.5 ± 8	48.6	43	46 ± 12	46 ± 9.6	39 ± 4.4
Mean gradient	11 ± 4	9 ± 4	12	15 ± 5	12 ± 3	10 ± 5
Mismatch	4 (17%)	4 (19%)	0	18 (53%)	6 (20%)	2 (9%)
Moderate	4	4	0	12	5	2
Severe	0	0	0	6	1	0

TAVI弁が小さいほど、
新しい弁ほどPPMを生じやすい



アコースティック
スケールにより、弁葉の位置を正確に決定でき、
PPMの発生を抑制する。

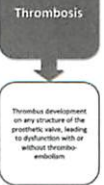
血栓

■ Hypo-attenuated leaflet thickening (HALT)

■ Reduced leaflet motion (RLM)

- TAVI弁周囲に低吸収域が出現し、
弁葉が肥大しているように観察される
- 抗凝固剤で消失することから、
この低周波域は血栓と考えられている

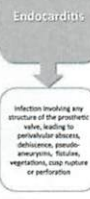
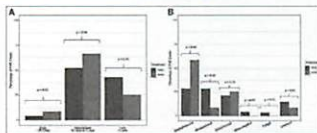
人工弁に血栓が付着する
↓
弁葉の可動制限
↓
圧較差の上昇をもたらす



心内膜炎

■ TAVI後の人工弁心内膜炎 (TAVI-PVE)

- 発生率は0~14.3% (平均3.25%)
- SAVRと発生率に有意差は無い
- TAVI-PVEの予後は非常に不良
- バレーン拡張型より自己拡張型のほうがリスクが高い



血行動態への評価

■ Stage 1 : 弁の劣化 (血行動態の変化なし)

- SVD, Non-SVD, 血栓症, 低心拍出量など血行動態の変化なし (EPM, 弁周漏れを疑った)
- 早期に発見 (mean PG < 20mmHg)
- 予後は良好

■ Stage 2 : 弁の劣化 + 中等度の血行動態変化

- TAVI後1-3ヶ月の心エコー評価と比較
- 予後は良好
- mean PGが20mmHg以上増加し、20mmHg以上となった場合
- それに伴い、EOAが30%以上または25%以上低下
- Doppler velocity index (DVI) が1以上または10%以上低下
- 予後は良好

■ Stage 3 : 弁の劣化 + 重症の血行動態変化

- TAVI後1-3ヶ月の心エコー評価と比較
- 予後は良好
- mean PGが20mmHg以上増加し、30mmHg以上となった場合
- それに伴い、EOAが50%以上または40%以上低下
- DVIが0.5以上または40%以上低下
- 予後は良好

Table 10 Stages of hemodynamically valve deterioration	
Stage 1: Hemodynamically stable	• Evidence of structural valve deterioration, but no structural valve deterioration (mean PG < 20mmHg) or other significant hemodynamic change
Stage 2: Hemodynamically stable	• Evidence of structural valve deterioration (PG > 20mmHg) or other significant hemodynamic change (DVI < 1 or 10% compared with a baseline value) or other significant hemodynamic change
Stage 3: Hemodynamically stable	• Evidence of structural valve deterioration (PG > 20mmHg) or other significant hemodynamic change (DVI < 1 or 10% compared with a baseline value) or other significant hemodynamic change

TAVI術後の心エコー

■ TAVIの術式

■ TAVI術中〜術直後の合併症の評価

- 弁輪破裂/血腫、心タンポナーデ

■ TAVI弁の種類・機能評価

- サビエン、コアバルブ

- 弁のサイズ

■ TAVI後の評価

- BVDの評価 (SVDやPPM, PVR, 血栓症など)

- 血行動態の評価 (肥太の程度やMRなど)

■ ASに隠れたその他の心疾患

- 心アミロロース



SHD術後の超音波検査 | まとめ

■ 術式および術中の合併症を知っておこう

■ 術中のカルテやTTE/TEEレポートを読もう

■ SHD術中で多い合併症は心タンポナーデ

■ 治療による血行動態の変化を理解しよう

■ 経過観察や治療時に困らないような、断面の記録・レポートへの記載を心がけよう



Work Life Balance 検討委員会 presents

第10回

突撃!! となりの放射線科

ワークライフバランス検討委員会
和田 夏季

WLB（ワークライフバランス）検討委員会の和田です。今回は中部地区から二人の技師さんをご紹介します。

趣味の時間の過ごし方

島田市立総合医療センター

遠藤 奨

島田市立総合医療センターの遠藤と申します。今回執筆する機会をいただき、ありがとうございます。

ワークライフバランスがテーマということで、今回はプライベートでの趣味の時間の過ごし方を紹介させていただきます。

今のご時世はコロナ禍の真っ最中ということで、密を避け、感染対策をしながらだと色々と趣味にも制限がかかってしまうことも多いと思います。そんな中でも思い切り満喫できる趣味ってなんだろう？と思った方、自転車に乗りましょう！ということで今回紹介させていただくのは「ロードバイクのある休日」です。

静岡県は面積も広く、サイクリングに適したコースが多々あり、県外移動が制限された状態でも思う存分色んなコースを楽しめるのも魅力のひとつです。

そこで今回は、いつも行っているコースをいくつか紹介させていただきます。

①静波海岸

島田から約30kmほどにあるサーフィンで賑わうスポットです。約1時間弱ほどで到着するのでふらっと(?)行くのに最適な場所です。朝5時半ごろに出発すると到着するころにはちょうどいい感じに朝日が差し込み、なかなか機嫌な景色が広がります。朝の陽ざしを浴びながら潮風を感じるととても爽快な気分になります。

帰りは焼津経由で大井川沿いのマラソンコース「リバティ」をのんびりと走って帰ります。



図1. 静波海岸にて。

この日は雲の切れ間から朝日が差し込んでいて神々しい雰囲気。撮影時は6時半くらいの時間ですが結構サーファーが波に乗っていました。

②御前崎

静岡県最南端の岬に有名な御前崎の灯台があります。静波よりも少し遠くに行こうかなって時によくふらりと行きます。道中は海岸線を走るため、とても開放感のあるライドができます。灯台は高台の上にあるので、登った後に綺麗な水平線を拝む事が出来ます。(灯台前の坂道は傾斜がなかなかありちょっと骨が折れますが…)



図2. 灯台にて。

この日は快晴だったので気持ちよくライドができました。自転車を一緒に撮らなかったのは一生の不覚です。



図3. 灯台近くの高台からの景色。

花々もきれいに手入れされており、南国気分を味わえます。

③千葉山

千葉山は島田にある標高500mほどの霊山です。勤務先の病院から10分程度で麓に着くので、通勤ついでにそのまま登ることもしばしば…。

程よい斜度と走行距離のため、ホームコースのような山です。山なので当然ずっと登りなのですが、慣れれば快適に登れる山だと思います。道中自販機もあるので飲み物も買えるので安心(?)です。地面に結構苔が生えておりますので雨の日に行くと転倒の危険があります。お気を付けを。



図4. 千葉山の頂上(仮)の智満寺前にて。
実はこの後に真の頂上まで激坂があります。

④千頭駅

はい。ちょっとここだけレベルが跳ね上がります。最初に紹介した3つはふらっと行ける目的地ですが、千頭駅は結構な覚悟が必要です。

まずは距離。片道50kmあります。往復100kmになるので丸1日を費やす覚悟で行きましょう。慣れてくると朝5時半に出発すれば9時半ごろには島田に帰ってこられます(狂気)。

そして斜度。川根本町の奥にある千頭駅にはいくつもの上り坂を越える必要があり、山に登り慣

れていないと結構序盤に足が持っていけません。
ですが到着した時の達成感は何のすごいものがあります。

人力で初めて100km走り切ったときの達成感と感動は何よりもうれしかったです。運が良ければ駅に止まっている大井川鉄道のトーマスが見られます。



図5. 千頭駅前にて。

慣れてくると到着後5分で島田へ向けて出発します…
この日はトーマス居ませんでした。

以上いくつか紹介させていただきましたが、いかがでしたでしょうか。

ロードバイクのいいところは自分の力で目的地にたどり着けるところだと思います。普段車でやっているようなところでも、ロードバイクに乗って行くといつもと違った景色に感じるかもしれません。コロナ禍が明けたら県外のサイクリングコースもたくさん走ってみたいと思っており、一刻も早い終息を願っております。

今回の記事でロードバイクの魅力が伝われば幸いです。趣味でやれることの限られているこのご時世だからこそ、ロードバイクのある生活、始めてみませんか？

[illegible]

ワークもライフも大きな変化

焼津市立総合病院 中央放射線科

杉本 浩輝

この企画の原稿依頼を受けたのが8月頃。過去の担当者達の記事を読ませてもらいながら、いつ正式に依頼が来るのかな?と何も書かず、ぼんやり待っていたところ、原稿依頼を正式に受けたのが2021年9月下旬。締め切りも9月下旬!?!ぼんやりしすぎていたようだ。

10月より放射線技師法が改正され、造影剤のルート確保を放射線技師が行えるようになるという、ワークに大きな変化が起こる。主に放射線治療、RI検査を担当している技師の端くれとして、仕事をしているが『穿刺出来るようになる。けど、RIは装置に繋がずに、薬の投与は手押しで行っているけど、どうなるのか?』と思っていた所、日本放射線技師会の特設サイトのQ&Aに答えが記載されていた。

Q：手動による造影剤の投与と放射性医薬品の投与はできますか？

〔A：シリンジを手押しすることによる造影剤や放射性医薬品の投与については、当該装置を操作する行為に含むものと解釈されていますので、可能です。〕

どうやら、薬の投与も可能になるらしい。その他にも色々なQ & Aが載っていたので、気になる方は一度特設サイトを覗いてみてほしい。(決して、技師会から必ずこの文言を書いてください！と言われた訳ではないのであしからず)

いつもルートを取ってもらっている時、患者さんから「血管出にくいよ。」「前は何回も刺されて大変だった。」等々言われ、技師サイドからも、「漏れないようにお願いします。」と、方々からプレッシャーをかけられながらも、取ってくれていた看護師さんたちの苦勞を、自分も感じる日が訪れることになりそうだ。(まだ、当院での正式な運用は決まっていないので、いつから行っていく

あなたの 診療放射線技師免許 アップデート が必要です!!

新たな業務をつかみ撮れ。



のかは不明だが、先んじて取り組んでいるご施設のお話をぜひ聞いてみたい。）

個人的であるが、ライフの方にも大きな変化が起きる。法改正と同じく、10月に子供が産まれる予定である。ここからは、ライフのことについて最近大変だったことを書き連ねていきたい。

妻の妊娠がわかった妊娠初期、悪阻の症状が出てくる。状態が酷く、仕事にも出られず、家でも動けず、ひたすら寝ている状態になってしまった。酷い時は、水を飲むだけでも吐き気が出ている日もあった。二日酔いで水を飲むだけで嘔吐したりした過去があるが、その症状がずっと続いているような状態だと、考えただけで辛いのがわかる。（飲み過ぎの自業自得と比較してはいけなそうと思いつつ、似たような体験がそれしか出てこない…そんな比較で申し訳ない [苦笑]）必然と、家のことは全て自分がやっていかないといけなくなる。子供が2人いて、小学生と幼稚園児。朝起きて朝食を用意し食べさせ、小学生の子が発出した後、下の子を園まで送り届ける。朝のノルマが無事に済み、気持ちが落ち着く。（まだ仕事は始まっていない!）仕事も無事に終わった後、第2ラウンドの始まりだ。預け先の閉まる時間を気に

しつつ、二人を迎えに行き夕飯の支度。子供達にご飯を食べている間に、妻の様子を見つつ洗濯物の片付け、洗えるお皿や子供達の水筒を片付ける。食べ終わった後は、上の子の宿題を見て丸付け。子供達をお風呂に入れた後、拭き上げ、仕上げの歯磨きをして、子供達は就寝。一段落だが、家事はまだ続く。食器の片付けの続きに、洗濯物を洗って干す作業。次の日の夕飯作り、朝食のためのお米の準備に、水筒に持って行く麦茶作り。書き切れないその他の家事も休日に済ませる。（ここまで書いていて、今書いている事はライフの項目なのにワークではないかと思ひ読み返すが、家事育児だからやっぱりライフのはずだ…）妻の悪阻がいつ落ち着いてくれるのか、ゴールが見えない中で、日々の仕事に、ワンオペ育児を行い続ける日々。妻は赤ちゃんを育てるために、悪阻を耐えて頑張ってくれているのだと自分に言い聞かせ、1日1日をなんとか過ごしていく。悪阻が始まってから数ヶ月、状態も落ち着き少しずつ動けるようになり、家事が出来るようになった妻。妻の体調が良くなり、ワンオペも何とか終了。安定期になり、気持ちが楽になるのを感じた。（思い返してみれば、2人目の妊娠の時も同じような状況であったが、思い返さないと忘れていたものなのだなと。）幸いなことに、両親が近隣に住んでいるので、当直業務がある日や都合が着く時などは、サポートしてもらいながら、なんとか乗り切ることが出来た。誰かが何かをやってくれているおかげで、自分が楽が出来ている。家事育児だけではなく、仕事でもそうだ。誰かが自分に対応しきれていない業務をやってくれているおかげで、自分の業務も回す事が出来ているのだと、改めて考える事が出来た。（職場の皆さん、家のことでどたばたして休みをいただければ幸いです、快く対応して



いただき、本当にありがとうございます。)
 この拙い文章が載ったJOURNALが刊行さ

れた時には、元気な児を迎え入れて、家族全員が
 笑顔でいられる事を願うばかりだ。

島田市立総合医療センターの遠藤さん、焼津市立総合病院の杉本さん、ありがとうございました。

遠藤さんはロードバイクで休日をリフレッシュする時間に切り替えられているお話でした。コロナ禍で私達も例外なく休日の行動には大きな制限がかかる中、健康的な趣味を持つのは仕事にも良いことだと思います。たくさんの写真もご提供いただきましたので、そのまま掲載させていただきました。近隣にこんなに景色の良いところがあるのかと、再発見でした。ありがとうございました。

杉本さん、執筆依頼を十分にしておらずご迷惑をおかけしました。仕事にも育児にも一生懸命な技師さんで、時間のない中私のわがままにも対応してくださいました。ありがとうございます。仕事で起きていこうと変化と、家庭での変化についてお話をさせていただきました。仕事も育児にも時間を割き、積極的に勉強もされている技師さんです！

仕事での変化というと、コロナ禍でリモートの勉強会が増えたことなどもあり、情報の取得は以前よりも簡単にできるようになった部分もあるように感じます。移動時間が無くなるだけで、忙しくても参加できるものが多くあり、助かります。上手な時間の使い方をされている技師さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

お知らせ

静岡県放射線技師会事務所 メールアドレス変更のお知らせ

令和4年2月1日より、静岡県放射線技師会事務所のメールアドレスを下記の通り変更いたしますのでお知らせいたします。なお、静岡県放射線技師会事務所の住所、電話番号、FAX 番号に変更はございません。あらかじめご承知おきください。

記

■ メールアドレス

変更前 shizuhogi@ac.auone-net.jp



変更後 info-shizuokahousya@shizuhogi.jp

■ 移行期間

令和3年12月1日 ～ 令和4年1月31日

■ 完全移行

令和4年2月1日 ～

※旧メールアドレスは受信できませんのでご注意くださいようお願い申し上げます。

以上

メッセージボード

令和3年10月現在

中部地区

◎経過報告

令和3年10月1日 第2回幹事会

Zoomを使用してリモート開催 出席者10名

1. 地区会長挨拶
2. 県技師会理事会報告
3. 協議事項
 - ・令和3年度第1回放射線セミナー&胃がん
検診エックス線撮影従事者講習会について
 - ・地区会ニュースの発行
 - ・次期役員選出結果について
 - ・地区会総会について
 - ・令和3年度第2回放射線セミナー&胃がん
検診エックス線撮影従事者講習会について
 - ・その他

◎行事予定

- ・令和4年1月 地区会NEWS新春号発行
- ・令和4年2月 第3回幹事会
- ・令和4年3月5日 第2回放射線セミナー及
び胃がん検診撮影従事者講習会
- ・令和4年3月5日 中部地区会総会

令和3年10月2日 第1回放射線セミナー及び胃
がん検診X線撮影従事者講習会

COVID-19感染拡大防止のためZoomを利用
したweb開催とした。(出席者36名)



◎経過報告

2021.08.03(火) WEB会議

第2回幹事会(WEB会議) 開催

事務局「静岡県立静岡がんセンター」 発信

参加者 14名 (ZOOM使用)

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②技師長等会議について
- ③来年度地区会役員の選定について
- ④地区会たよりvol.2(案)について
- ⑤放射線セミナー・胃がん講習会について

2021.09.11(土)

東部地区会たよりvol.2 発行・発送

2021.09.24(金) WEB会議

東部地区 技師長等会議(WEB会議) 開催

事務局「静岡県立静岡がんセンター」 発信

参加者 17名 (ZOOM使用)

- ①来年度東部地区会長候補施設、事務局について
- ②来年度東部地区選出県理事について
- ③来年度県技師会委員会、部会員について
- ④来年度東部地区会役員について
- ⑤コロナ禍での東部地区会活動について

◎行事予定

2021.10.21(木) 18:30 ~

第3回幹事会(WEB会議) 開催

「静岡県立静岡がんセンター」 発信

2021.11.06(土) 14:00 ~ 17:00

令和3年度 第1回放射線セミナー・胃がん検診X線撮影従事者講習会

開催方法: ZOOMによるWEB開催(静岡がんセンター発信)

内容:

胃がん検診X線撮影従事者講習会

講演「胃癌の外科治療~CTや上部消化管造影検査は治療選択にどう影響するか~」

講師 静岡県立静岡がんセンター 胃外科

副医長 古川健一朗 先生

放射線セミナー

会員発表「DRLs測定の実際」

透視・CT・血管撮影のDRLs測定

2021.12.上旬

東部地区会たよりvol.3 発行

2022.01.23(日)

第2回 放射線セミナー

第2回 胃がん検診X線撮影従事者講習会

ZOOMによるWEB開催(静岡がんセンター発信)

2022.02.10(木) 19:00 ~

第4回幹事会 開催

「三島商工会議所」 4階会議室C・D

2022.02.中旬

東部地区会たよりvol.4 発行

2022.03.上旬

第60回東部地区会通常総会

ハガキによる決議(予定)

西部地区

◎経過報告

社会奉仕活動 出張授業

「聖隷クリストファー高校」

日時：令和3年7月27日(火) 11:30～12:30
(4限目)

場所：聖隷クリストファー高校 1F会議室

参加人数：高校1年生27名、教員1名

授業内容：

講義 診療放射線技師の仕事

実演 ワークステーションをさわってみよう

聖隷浜松病院 放射線部 小林 秀行 会員



第1回西部地区会勉強会

日時：令和3年9月18日(土) 14:00～16:10

方法：WEBによるライブ配信(Zoom)

場所：アクトシティ浜松研修センター6F 61会議室

参加人数：137名(WEB134名、会場3名、
会員80名、非会員57名)

演題名

『なぜそのCTは子供を笑顔にできたのか?』

～こどもの権利を尊重する撮影テクニック～

三重大学医学部附属病院 中央放射線部

講師 永澤 直樹 先生

『骨軟部腫瘍の画像診断』

～悪性所見を見逃さないために～

聖隷浜松病院 せほね骨腫瘍科

部長 人羅 俊明 先生

西部地区幹事会

日時：令和3年9月22日(水) 18:00～18:35

方法：WEB会議(Teams)

場所：聖隷浜松病院放射線技師室(ホスト)

参加人数：11名

内容：今年度の行事について

会費報告

会員管理報告

(新規施設のブロック配置について)

次期役員選出について

その他(周年記念事業準備として)

特定費用準備資金、謝金内規の確認)

第1回西部地区会誌「西部TIPS」

10月発行

◎行事予定

社会活動 可美公園秋の体験プログラム2021

日時：10月24日(日) 10:00～

方法：掲示物による参加

内容：

『診療放射線技師の仕事紹介』

資料掲示

『コロナ禍でがんばる診療放射線技師』

写真掲示

『診療放射線技師への応援メッセージの募集』

第3回幹事会

日時：11月中

場所：聖隷浜松病院放射線技師室

(集合型で開催)

第2回放射線セミナー&胃がん検診従事者講習会

日時：12月18日(土)

方法：WEBによるライブ配信

場所：アクトシティ浜松コンgresセンター2F
21.22会議室

内容：(仮)大腸のCTについて

(仮)変形胃の撮影について

第2回西部地区会勉強会&胃がん検診従事者講習会

日時：令和4年3月5日(土)

方法：未定

場所：プレスタワー17F「静岡新聞ホール」

内容：未定

第44回西部地区会総会

日時：令和4年3月5日(土)

方法：未定

場所：プレスタワー17F「静岡新聞ホール」

内容：未定

本 会 の 歩 み

(令和3年6月11日～令和3年9月23日)

R 3 / 6 / 24

第 6 回常任理事会 (WEB)

R 3 / 6 / 26

第44回放射線技師のためのセミナー (WEB)

・ 会員発表

「医療法改正による医療放射線安全管理の現状」

中東遠総合医療センター 黒田 紗弓 会員

静岡市立静岡病院 山内 達也 会員

聖隷沼津病院 原田 真 会員

・ 特別講演

「DRL s 2020の概要～最近の放射線防護の動向とともに～」

セントメディカル アソシエイツ 広藤 善章 先生

参加者62名

(会員58名 他府県会員3名 非会員1名)

R 3 / 7 / 4

フレッシュャーズセミナー

(アルフレッサ株式会社 静岡支店 2F会議室WEB併用)

参加者 26名

R 3 / 7 / 8

第 7 回常任理事会 (技師会事務所)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀

鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- ・ 豪雨災害への対応
- ・ 周年記念事業プロジェクトチームについて
- ・ 企画申請書、報告書
- ・ メディメッセージ延期について

R 3 / 7 / 27

令和 3 年度社会活動

聖隷クリストファー高校 [出張授業]

- ・ 講義：診療放射線技師の仕事
- ・ 実演：ワークステーションをさわってみよう

講師 聖隷浜松病院 放射線部

小林 秀行 会員

R 3 / 7 / 29

第 8 回常任理事会 (WEB)

R 3 / 7 / 30

ジャーナルVol.31 No.1 2021 (通巻211号)

第25回静岡県放射線技師会学術大会抄録集 発行

R 3 / 7 / 31

第 5 回ワークライフバランス検討委員会 WEB勉強会

参加者 30名

(会員25名 非会員5名)

R 3 / 8 / 12

第 9 回常任理事会 (技師会事務所)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀

鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- ・ 周年記念事業について
- ・ 山梨県診療放射線技師会との連携
- ・ 企画申請書、報告書
- ・ 告示研修状況報告

R 3 / 8 / 26

第10回常任理事会 (WEB)

R 3 / 8 / 28

第 2 回理事会 (WEB)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀

鈴木 大杉 遠藤 佐野 廣澤 宿島

小林 神谷 廣瀬 栗田 松本 和田

協議事項

- ・ 告示研修状況報告
- ・ 公益法人10周年記念事業について
- ・ 未納会費の債務回収について
- ・ 技師会事務所水道の廃止について
- ・ 各委員会、理事会等の手当の送金について
- ・ 企画申請書、報告書

R 3 / 9 / 9

第11回常任理事会 (WEB)

山本 深澤 畑 高橋 後藤 森田 堀

鈴木 大杉 遠藤 佐野

協議事項

- ・ 周年記念事業 (理事会意見を踏まえて)
- ・ 小規模施設への技師派遣

- ・企画申請書、報告書
- ・その他

R3/9/23

第12回常任理事会(WEB)

会 員 動 静 (敬称略)

(令和3年6月7日～令和3年10月13日)

【入 会】31名

東部：渡邊 七瀬 三島総合病院
 柏葉 大河 順天堂静岡病院
 山本 洋花 順天堂静岡病院
 井出 亘 富士宮市立病院
 田代 晃世 富士脳障害研究所附属病院
 三沢 知数 清風会芹沢病院
 中部：西田 晃規 静岡市立静岡病院
 荻島 諒也 静岡県立総合病院
 尾藤 瑳紀 静岡医療センター
 伊藤 一輝 静岡市立清水病院
 中野 朱莉 コミュニティホスピタル甲賀病院
 吉田 陽菜乃 コミュニティホスピタル甲賀病院
 山下 広輔 コミュニティホスピタル甲賀病院
 前田 多映 聖隷健康サポートセンターShizuoka
 西部：中島 祐子 浜松医科大学附属病院
 森下 冬香 浜松医科大学附属病院
 玉木 潤耶 浜松医科大学附属病院
 福岡 通大 浜松医科大学附属病院
 後藤 勇磨 浜松医科大学附属病院
 山本 裕之 JA静岡厚生連 遠州病院
 伊藤 美幸 JA静岡厚生連 遠州病院
 夏目 沙季 磐田市立総合病院
 玉井 洋子 磐田市立総合病院
 赤堀 令一 磐田市立総合病院
 川合 沙英 総合病院聖隷浜松病院
 小杉 佳奈美 浜松医療センター
 有本 旭宏 浜松医療センター
 山田 恵李 すずかけセントラル病院

伊藤 潤平 自宅
 倉沢 恵莉子 自宅

【再入会】2名

東部：岡本 喬介 国際医療福祉大学熱海病院
 西部：鈴木 雅則 浜松医科大学附属病院

【転 入】3名

東部：初田 一稀 池辺クリニック
 ← 東京都
 中部：齋藤 道宏 自宅
 ← 宮崎県
 西部：角田 文哉 HMT画像診断クリニック
 ← 栃木県

【転 出】2名

東部：鈴木 太 埼玉県
 初田 一稀 栃木県

【勤務先移動】11名

東部：上野 由美 自宅
 ← 富士脳障害研究所附属病院
 高野 健司 熱川温泉病院
 ← 自宅
 松井 隆之 聖隷富士病院
 ← 総合病院聖隷浜松病院
 坪内 秀生 聖隷沼津病院
 ← 聖隷富士病院
 武川 彰宏 自宅
 ← 桑名眼科脳神経クリニック
 中部：杉山 高 自宅
 ← 浜松南病院
 大川 剛史 藤枝市立総合病院
 ← 静岡県立総合病院
 清水 有香里 総合検診センター・ヘルスポート
 ← 静岡県予防医学協会藤枝検診センター
 西部：加藤 剛 総合病院聖隷浜松病院
 ← 総合病院聖隷三方原病院
 菅沼 由孝 自宅
 ← 市立湖西病院
 松嶋 真弓 聖隷予防検診センター
 ← 総合病院聖隷浜松病院

【退 会】 2 名

東部：大熊 むつ子
遠藤 一弘

【姓変更】 1 名

中部：清水 有香里 総合健康センター・ヘルスポート
← 薬科

8/16 秋放技ニュース 2021.8.10 通巻69

9/6 北海道放射線技師会 会報 2021年 9 月

9/6 東京放射線 2021年 9 月号 Vol.68 No.797

9/13 MART会報96 宮城県放射線技師会

9/16 富山県診療放射線技師会 会報 Vol.97 2021

会員総数	9 8 2 名
東部	2 8 5 名
中部	2 9 4 名
西部	4 0 0 名
県外	3 名
(令和 3 年10月13日現在)	

【電 報】 6 件

田島 光人 弔電
中村 文俊 弔電
中村 文俊 弔電
田中 章 弔電
山本 英雄 弔電
大島 輝 弔電



6/18 福岡県診療放射線技師会誌 第347号
jun.12 2021

6/24 広島県診療放射線技師会 会誌 2021.06
No.55

7/1 東京放射線 2021年7.8月号 Vol.68 No.796

7/5 福井県診療放射線技師会 会誌 第42号

7/5 放射線 やまぐち 2021 Vol.286

7/30 埼玉放射線 2021 No.3

8/2 かながわ放射線だより Vol.74 No.2 Jun.2021

8/2 兵庫県放射線技師会 会誌 2021.8.1 Vol.81-①

8/10 大分放射線 第124号 July 2021

令和3年度 第2回 理事会 議事録

1. 開催日時 令和3年8月28日(土)

2. WEB会議 (Teams)

3. 出席者 (敬称略)

山本 英雄・深澤 英史・高橋 真
畑 利浩・後藤 修司・堀 吉孝
鈴木 紀晶・大杉 正典・遠藤 基生
佐野 祐二・森田 光博・廣澤 賢一
宿島 久志・小林 秀行・神谷 正貴
廣瀬 和秀・栗田 仁一・松本 恭徳
和田 健

(1) 山本会長挨拶

皆さんこんにちは。

令和3年度第2回理事会を始めます。

新型コロナウイルス感染拡大し、緊急事態宣言も発出されている状況下で、皆様の業務も大変だと思っています。このような状況ですが企画・運営を進めていかなければいけません。

定款の34.条にしたがい、議長は会長の私が務めさせていただきます。書記は総務庶務・森田理事をお願いします。それでは議事を進めていきます。

(2) 報告事項

I. 会長

会員数報告です。6月30日現在、静岡県の会員数が924名。ようやく前年度の会員数に近づきました。後ほど報告がありますが、7月・8月を経て会員数は924名を上回ると思います。

全国の会員数の推移を見ても徐々に会員数が戻りつつある状況です。

月別の会員数推移ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度の後半から会員数が減少し、前年度を下回っている状況が続いていました。今年度も前年度を下回るところからスタートし、

徐々に回復していくのではないかと予測されます。

続いて組織率です。静岡県は61.7%となっています。静岡県には約1,500名の放射線技師がいます。非会員約600名の技師にも告示研修を受講していただかなければいけないという事になります。非会員の人数が多いので、告示研修の案内や研修の開催回数が心配になります。

学術大会についてです。皆さまにもメールでお伝えしてありますが、現在の演題登録数が296。静岡県は10演題となっています。例年20演題程度登録されています。演題募集の期限も延長されています。各施設、大会への協力をお願いします。

告示研修について。7月31日より基礎講習が始まりました。現在の報告で、約9,000名が受講しています。その中で受講完了した技師の人数は報告がありませんが、半分ほどの技師が完了しているのではないかと思います。

受講終了後から、実技講習も実施していかなくてはなりません。こちらも様々な課題が出てきています。

8月21日に役員及び統一講習会委員でプレ講習会を開催、講習会の模様を録画、それをもって各地区でファシリテーター養成講習を実施していく予定でした。

ファシリテーターは各県最低6名必要とされ、講習を行う際スタッフとしてサポートしていく役目があります。

中日本地区で各県7名選出し9月19日、岐阜医療科学大学においてファシリテーター養成講習を行う予定でした。

ファシリテーターは基礎講習、実技講習を修了し、ファシリテーター養成講座を受講しなければいけません。

従って、9月18日に実技講習を受講、19日に養成講座を受講し、ファシリテーターとして活動する予定でした。

この実技講習の講師は医師及び看護師になります。講師依頼に関して医学放射線学会、看護協会

等関係団体に依頼し派遣をお願いします。

これらを経て、各県ファシリテーターの確保ができれば告示研修として、実技講習を開催していく予定でいました。しかし、群馬県にも緊急自治宣言が発出されたことで8月21日のプレ講習会は中止。それに伴い9月19日の中日本地区講習会も中止となっています。

厚生労働省より、10月1日から法律が施行される為、それまでに1回は研修会の開催が望ましいと通達を受けています。したがって、9月18日・19日に新潟県でプレ講習会の開催を予定しています。その後、各地区で養成講座を開催します。中日本地区は10月9・10日に新型コロナウイルス感染症関連の宣言が発出されていない福井県で開催する予定を立てています。

ファシリテーターが養成できないと各県での講習会を進める事が出来ません。各県の開催時期は11月・12月になってしまうと思います。

JARTからです。2022年の事業計画カレンダーが出ています。定時総会6月11日。JART75周年記念式典7月16日。全国会長会議7月17日となっています。静岡放射線技師会のイベントが重ならないように事業計画を立てていきましょう。

静岡県放射線技師会から。公益法人の手続きで事業報告書類を静岡県へ提出しました。

ファシリテーター講習会参加候補者を7名選出しました。

開催日時・場所の変更があったため、スケジュールの都合で参加候補者の変更があるかもしれません。技術講習会開催には6名のファシリテーターが必要です。今回の養成講習で7名中4名しか受講修了し出来なかった場合、静岡県単独ですぐに実技講習を開催する事が出来ません。隣県のファシリテーターに依頼し6名そろえて開催するか、静岡県で6名そろえて開催を延期するかという事になります。

山梨県放射線技師会との連携という事で、先日山梨県放射線技師会よりセミナーの案内がきてい

ました。

過去に感染管理について講演を行いました。その時のつながりや、共に富士山を有する県として協力関係を取っていきましょうという話が出ました。

今後、技師会主催のイベントを山梨県放射線技師会にも紹介し、参加を募る事も可能ではないかと思います。是非、協力をお願いしたいというイベント等あったら連絡を下さい。

CCRTからです。第13回中部放射線医療技術学術大会の演題登録が少なく困っています。

11月20日から26日までWEBで開催されます。演題エントリーをお願いします。

先日、浜松医大・神谷技師長より2演題エントリーすると報告がありました。

他施設でも協力をお願いします。

報告事項は以上です。

告示研修については、基礎研修を受講しておいて下さい。私は受講修了していますが、約700分のeラーニングになります。受講後、確認試験があります。これに合格しないと実技講習を受講できません。地道にコツコツ進めてください。

II. 副会長報告

東部 深澤副会長

先日のメール会議で報告しましたが、原子力安全研修会を10月30日に企画しています。緊急事態宣言が発出されたので、浜岡原子力発電所に状況を確認しました。

緊急事態宣言中という事で原子力館が休館中という事でした。したがって、10月30日に宣言が発出中であれば確実に開催できないという事になります。

開催の可否を事前に決定しなければいけないのですが、先行きが不透明な事もあり、会議を10月に予定していましたが、9月中に開催し様々な状況を想定し、研修会開催の可否、方法等を決定したいと思います。

後ほど、企画報告書、企画申請書があります。

中部 畑副会長

報告事項は特にありません。

協議事項で周年記念事業の件があります。よろしくをお願いします。

西部 高橋副会長

報告事項ありません。

Ⅲ. 常任理事報告

総務 後藤理事

活動報告です。3月に賛助会員の契約依頼及びジャーナルの広告依頼を行いました。賛助会員に23団体、ジャーナル広告に14団体と契約を結ぶ事が出来ました。

5月の定時総会・学術集会の抄録集ですが、こちらも広告の依頼を行いました。9団体から依頼を受け、請求をかけています。

今後の活動として、新春公開講演会・アール祭・祝賀会の運営方法の検討をしています。

総務庶務 森田理事

報告事項ありません。

庶務一般

胃がん検診講習会について県の担当者と話を進めています。

新入会員の報告です。

令和3年4月15日から令和3年8月11日まで、新入会員36名、転入2名ありました。

以上38名につきまして、定款3章第6条に基づき、本理事会での承認をお願いします。

山本会長

新入会員・転入会員38名の承認について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

庶務会員管理 鈴木理事

会員数と会費納入状況を報告します。

総会員数964名。会費納入率70.9%。昨年度の会費納入率70%より高い納入率となっています。

年会費納入期限が9月30日までとなっています。9月30日までに納入された会員に対し、日本放射線技師会より一人当たり200円の補助金が支給されます。近くに未納者の方がいらっしゃいましたら期限内に納入いただきますよう会費納入の呼びかけを宜しくお願い致します。

9月に会費未納者リストを作成し副会長にメールで送らせていただきます。

山本会長

期限内に納入する事で日本放射線技師会からの補助金があります。9月中に納入をお願いします

会計 大杉理事

7月31日現在の現金預金です。静岡銀行に1,781,943円。ゆうちょ銀行に5,962,701円。現金44,108円。合計7,788,752円となっています。

特定資産です。記念講演積立金400,000円。資産整備積立金363,940円。事務所営繕取得準備資金6,784,000円。合計7,547,940円となっています。

令和3年4月から7月までの収入です。主に事業委託費と会費で7,022,469円の収入がありました。

支出になります。4月から7月で3,548,480円となっています。

資産整備積立金より、ミーティングオウル、パソコンを購入しました。資産整備積立金の残金が363,940円となっています。こちらは本年度中にGMサーベイメータを購入予定です。

編集 遠藤理事

経過報告です。7月30日(金) JOURNAL Vol.31 No.1 2021 通巻211号 1,050部発行。

第25回静岡県放射線技師会学術大会抄録集を990部発行しました。

次号JOURNAL発行に向けた今後の予定です。

10月12日(火) 原稿締め切り

10月26日(火) 編集委員会 初校

11月9日(火) 編集委員会 2校

11月26日(金) 発行(発送作業)

原稿寄稿を随時お願いしていきます。期日までに原稿の作成をお願いします。

次号に来年開催予定の第26回静岡県放射線技術学会大会の演題募集、演題申し込みの会告を掲載します。会告は令和3年12月から令和4年3月末までに開催される事業について掲載が必要です。開催日未定の事業の日程等が決まりましたら常任理事メーリング等でお知らせください。詳細未定の場合、会告はJOURNALに掲載しません。決まり次第、静岡県技師会ホームページに掲載を依頼してください。

周年記念誌編集委員7名を選出しました。次期編集理事は未定となっています。

遠藤 基生・常葉 勇介・杉山 大介

廣澤 賢一・宿島 久志・小林 秀行

山本 英雄・次期編集理事

2023年3月末にJOURNALと一緒に発行する場合の予定は次の通りです。

2022年2月初旬 第1回周年記念誌編集委員会
*10月まで必要に応じて編集委員会を開催し内容等検討をする。

2022年10月頃 原稿依頼

2023年1月初旬 原稿締め切り

2023年1月中旬 第2回周年記念誌編集委員会

2023年2月下旬 第3回周年記念誌編集委員会

2023年3月中旬 第4回周年記念誌編集委員会

2023年3月下旬 最終確認

詳しい内容が決まり次第、周年記念誌編集委員に連絡していきます。

広報 佐野理事

報告等ありません

IV. 地区選出理事

東部組織理事 廣澤理事

経過報告から。5月11日、東部地区会第1回幹事会を開催しました。内容としては主に次回の放射線セミナー、胃がん検診撮影従事者講習会についてでした。

6月上旬、地区会たよりのVol.1発行と発送を実施。

8月3日(火) 第2回幹事会を開催。第1回第2回ともZoomを使用しました。

第2回も放射線セミナー胃がん検診X線撮影従事者講習会についての相談が主な内容でした。

今後の予定です。9月上旬、地区会たよりVol.2発行・発送。9月24日(金) 東部地区会技師長等会議をZoomで開催します。来年度以降の東部地区会の運用運営方針を決めるため、技師会で各施設技師長に集まってもらいます。

10月中旬、第3回幹事会。ZoomによるWEB会議を予定しています。

11月6日(土) 東部地区会第1回放射線セミナーと胃がん検診X線撮影従事者講習会をZoomで開催予定です。

12月上旬、地区会たよりVol.3発行・発送を予定しています。

セミナーのプログラムです。11月6日、14時から11時までZoomで開催します。

胃がん検診X線従事者講習会が静岡県立静岡がんセンター 胃外科 副医長 古川先生に胃癌の外科治療ということで質疑応答含め90分で講演をしていただきます。

その後東部地区会、放射線セミナーということでDRLs測定の実際ということで透視・CT・血管撮影の実際測定した方法やコツを各施設の会員に発表していただきます。

中部組織理事 宿島理事

経過報告です。5月28日、第1回幹事会をZoomで開催。7月、地区会ニュース夏号発行しました。

今後の予定です。9月、第2回幹事会を開催予定。10月2日、放射線セミナー、胃がん検診X線撮影従事者講習会をZoomで開催します。

内容は透視機器メーカーの装置紹介。会員からは装置の使用経験、症例報告を発表していただく予定です。

毎年開催されていた静岡ふれあい広場は今年度も中止が決定しました。

西部組織理事 小林理事

報告からです。6月24日、第1回西部地区会幹事会をTeamsで開催。7月2日、静岡医療科学専門大学校に訪問。西部地区会の活動報告をさせて頂き、先生方も地区会に参加して頂きたいということでお話をさせていただきました。

中村学科長、夏目副学科長と面談をさせて頂いております。

7月27日、社会奉仕活動ということで聖隷クリストファー高校で出張授業を行いました。

参加者は高校1年生を対象に27名の参加がありました。学校で事前にアンケートを取り、27名の生徒が希望したという事です。1時間で講義とワークステーションを用いて実演を行いました。

今後の予定ですが9月18日、第1回西部地区会勉強会をWEBで予定しています。

三重大大学の永澤直樹先生『なぜそのCTは子どもを笑顔にできたのか』と放射線セミナーとして聖隷浜松病院の人羅先生『骨軟部腫瘍の画像診断』に講演を依頼しました。この内容については技師会のホームページに案内を載せておりますのでご確認いただければと思います。第2回西部地区会の勉強会ですが、11月27日を予定していましたが、やま胃会の第50回記念大会と日程が重なっています。胃がん検診X線撮影従事者講習会も兼ねて開催を考えていましたが、講師が準備で

きないということと、参加者も見込めないということで日程の変更を検討しています。

この後、12月のスケジュールを確認させて頂きたいのでまた後で質問させていただきます。

社会活動ということで、例年開催されている可美公園まつりですが、10月24日を予定しているということで浜松市の担当者と連絡を取っています。現在、中止という連絡は聞いていませんので準備は進めています。

山本会長

各地区の社会活動ですが、中部地区は中止。西部地区も今後どうなるかわかりません。東部地区はどうですか。

廣澤理事

もともとメディメッセージと一緒に活動する予定でした。メディメッセージの中止が決定したので、今回も見送りという事になると思います。

山本会長

西部地区で実施した学校へ出向いて放射線技師の存在、業務等をアピールするのも一つの社会活動として良いと思います。このような活動に是非チャレンジしてもらいたいと思います。

廣澤理事、宿島理事、可能であれば中学校・高校への講演をおねがいします。

ノウハウは小林理事が持っていると思いますので聞いてください。

日本放射線技師会でも正しい放射線の知識を知ってもらいたいと思っているので、子ども達に放射線技師の事を知ってもらうのは良い事だと思います。

このような社会貢献活動を企画してもらえると大変ありがたい事です。講師料等、必要な経費は技師会に負担します。是非ご協力をお願いします。

企画申請をお待ちしています。

V. 常設委員会理事報告

学術 神谷理事

7月20日、第1回学術委員会をWEBで開催しました。報告事項として、藤枝市立総合病院・本杉委員が諸々の理由により、本年度は委員としての活動を行わない事としました。

審議事項として、学術委員として決めなくてはいけない新春公開講演会と、次年度の技師会学術大会について委員に事前アンケートを実施し、役割分担を決定しました。

協議事項になってしまうのかもしれませんが、令和4年5月の学術大会で特別講演を西部地区小林会長からの推薦で早乙女先生に講演の依頼をしています。

今後の活動として、令和4年1月に行われる新春公開講演会の特別公開講演、教育講演について検討していきます。

それからの学術大会のランチョンセミナーについても検討していきます。

企画調査 廣瀬理事

通信障害により深澤副会長より報告。

深澤副会長

8月25日、企画委員会を行いました。今年度の技師研修会の企画について検討しました。

VI. 監事（監査報告以外）事務職員

栗田監事

私からはありません。

山本会長

事務局より報告です。

現在、事務所の輪転機をリース契約していますが、再契約の話があります。使用状況を編集理事に確認したところ、使用時に紙詰まり等のトラブルが多い為、最近は使用実績が無いという事でしたので、新たな契約は結ばないという事にしまし

た。撤去費用が3万円かかります。事務所にあるソート機、印刷物を折る機械も使用機会が少ない為、リース期間が若干残っていますが、同時に撤去した方が良いという判断をしました。

各機器を撤去する事で事務所に空きスペースができます。有効活用していきましょう。

撤去費用3万円かかりますが、業者のカatalog（棚・椅子等）の中から3万円分の物品を購入できるそうです。したがって、撤去費用は実質0円になると思います。購入する物品については事務員と検討中です。

事務員からの提案ですが、事務所に簡易キッチンがあり、毎月水道料金を支払っていますが、事務員は水道を使用していません。そこで、水道は止めても良いのではないかという提案がありました。

もう一点、役員手当等の受け取りについてです。今回の理事会のようにWEBで開催すると、役員の手元に届けるのが難しい為、可能であれば役員にゆうちょ口座を開設してもらい、ゆうちょに振り込みをする。また、静岡銀行のネットバンキングを利用できる口座を開設してもらえば手数料0円で振り込みが可能です。役員はこのような方法を取れば適時手当てを受け取る事が可能となります。事務局も事務所に現金を用意する必要が無い為、効率的かつ安全に管理する事が出来ます。

以上の提案を受けていますので、検討をお願いします。

和田顧問

私ごとで恐縮ですが、今年度少し体調を崩しまして、理事会を欠席する事があったのですが、体調も戻りましたので技師会の方を見ていきたいと思っています。よろしくお願いします。

会計報告を見させてもらいましたが、支出の項目で委託費に顧問報酬等として記載されている文言があります。会計報告自体は会員には通知されない為、役員での共有事項としての話となります。

すが、顧問報酬となると、私が顧問として技師会に携わっているのが私が報酬を貰っているのではないかと勘違いされてしまう事があるかと思っています。

これは、税理士への委託業務の費用という事で文言を統一した方が良いと思います。栗田監事と相談して、統一していった方が今後のために良いと思います。

(3) 協議事項

1. 公益法人10周年記念事業について

山本会長

常任理事会でも検討をしています。来年、公益法人10周年になるのですが、そこでの式典、記念誌の発行をどのように進めていこうか検討しています。皆様から意見を頂きたいので協議していききたいと思います。

式典については畑副会長が中心となって企画を進めていますので、畑副会長から報告をお願いします。

畑副会長

周年式典の案という事で静岡県放射線技師会65周年式典を参考に企画しました。

まず、式典を会場で人を集めて開催できるかどうかという問題があります。

式次第として、来賓祝辞、紹介、各表彰を予定しています。

また、祝賀会を開催するのであれば、来賓祝辞、会長挨拶、乾杯、歓談と計画をしています。

コロナ禍での企画立案になるので、対面式かオンライン開催にするのか決めなくてはならないと思います。開催時期の新型コロナウイルス感染症の感染状況が分からないのでここで決定するのは難しいかもしれません。

開催時期ですが、対面式での開催が無理であれば2022年5月頃にオンライン開催。感染状況が落ち着き、対面式で開催できるめどが立てば2023年

1月頃に講演会をあわせて開催するという2つの案が常任理事会で出ています。

オンライン開催であれば、祝辞を頂く方々に録画依頼をして、式典で流すという形式になると思います。

対面式で開催するのであれば、65周年式典でも利用したホテルアソシアが候補になると思います。

オンライン、会場形式どちらで開催するにしても公開講演・記念講演はあるのでこの人選も検討していかなければいけません。

協議の程よろしくをお願いします。

山本会長

来賓は県知事、県医師会、日本放射線技師会、議員あたりでしょうか。他県の式典では関連する議員を多数招待していました。あとは、看護協会等関連団体をどうするか検討が必要です。

式次第の内容は良いと思いますが、皆さんから意見はありますか。

問題は開催時期と形式ですね。

常任理事会では2023年の新春公開講演会、アール祭の時に式典と兼ねて開催をする案が出ています。その時に感染状況がどのようになっているかはわかりませんが、対面式での開催を予定しています。

オンライン開催にした場合、祝辞等は録画で対応するので開催時期は早くても問題ありません。

2022年4月にちょうど10周年になるので、その時期に開催する事が出来ます。今からオンライン開催を計画しておけば問題はないだろうという判断です。

小林理事

来年5月の学術大会は西部地区が担当予定で、対面式で開催準備を進めています。会場を各所あたってはいるのですが、確保できていません。あと確保できそうな施設がありますが、予約開始が6ヶ月前からという事で11月1日にならないと予

約が取れない状況です。

オンライン開催という話も出ていますが、学術大会は会場型で開催する準備を進めています。

山本会長

三重県が10月に70周年記念式典を開催します。表彰は現場で行いたいという事で、式典関係者のみ会場へ参加。会員へオンラインで映像を提供する形式で開催を予定しているそうです。

畑副会長

現在、緊急事態宣言発出されている状況で、開催形式をどの時期に決定するか今後の計画において大きな要因になってくると思います

山本会長

来賓の方々にはできるだけ早い時期に、会場型で開催を予定していますが、状況によってビデオで参加をお願いしますという事を伝えておかなければいけないと思います。ただ、最初にビデオでという事を伝えてしまうと、今の時代ビデオで良いだろうと判断されてしまう可能性があります。

小林理事

私は、常任理事会で出された新春公開講演会・アール祭のところで会場型で開催する事に賛成です。

山本会長

2023年1月開催になると、常任理事の役員改選があるため、現在の常任理事は式典の実行委員会として運営するか、新役員が運営するのか考えなくてはなりません。

和田顧問

新型コロナウイルス感染症の感染が収まらない状況の中で、開催日時を今回の理事会で決めるのは厳しいのではないかと考えます。

私が会長の時に65周年記念式典が平成25年10月。記念誌は準備に半年くらいかけて15年間隔で発行してきています。15年あれば記念誌の発行というのは非常に有効かと思います。

記念誌で、時代の流れ、役員の変遷、技師会活動の流れ等が分かります。

来年度、公益法人移行10年を迎えるわけです。10年で記念誌の編集というのは厳しいのではないのでしょうか。

できれば、65周年から15年が経過した80周年記念は先人の皆様が築き上げてきた記念事業として盛大に開催していただきたいと思っています。

80周年は開催するとなると、7年後の令和10年が80周年に当たります。

今回の公益社団法人への移行に関する10年目の節目となる記念事業という事になると、記念誌の発行は厳しいかと思います。ですから、記念講演会を主体にしたものが良いのではないのでしょうか。

先ほど会長が言われたように役員改選があるので、周年記念事業の実行委員会を別に立ち上げ、そこが中心となり運営していくのはどうでしょうか。

今回の理事会では10周年記念事業の実行委員会を立ち上げて、会長の諮問機関になりますから、そこで開催時期や、開催形式を検討して、答申して理事会で協議していくという方向が良いと思います。

山本会長から相談を受ける中で、私自身の中で整理して10周年記念事業はあまり大きな規模にならないようにして、7年後の80周年に向けて事業計画を立てなければいけないと思います。先人が築き上げてきた25周年、35周年、50周年、65周年という事業は止めるわけにはいきません。80周年の次は100周年という大きな節目の時かなと思っています。

過去に、50周年の記念誌の編集に当時の実行委員会が2年かけてやっと50周年記念を発刊する事が出来ました。このような事もあるので、式典、

記念誌の発刊について今回の理事会で全て決定する事は無理だと思います。例えば、大まかな式次第は決めておいて、開催時期については2023年1月にするのか、2022年5月にするのかを常任理事数名を入れた実行委員会が検討し、理事会で決定していく事にしないと、今の感染状況でははっきりと決める事は難しいと思います。

その辺りを含めて、再検討してみてもうどうでしょうか。

山本会長

80周年記念事業は力を入れてやっていかなければいけません。

10周年記念事業に関しては現在の常任理事を実行委員にして、委員会を立ち上げる予定でした。役員の改選が来年度あるため躊躇したところがあります。

23年1月に式典だけで事業を行うとすると、記念誌の編集がなくなってしまいます。

和田顧問

最初に公益社団法人移行10周年記念誌を作るか、作らないかを検討していただきたい。

それから開催時期を2023年1月という事になると実質10年経っていません。2024年4月1日が10年になります。その前に開催となると、いずれにしても常任理事は変わりますので、各地区役員経験者2名位集まって委員会を立ち上げ、記念事業に向けて企画していかないと常任理事が令和4年5月に改選され、通常の会務を申し送り、会務を覚えていかなければいけない中での企画は大変かと思います。

10周年記念式典を2022年1月に開催するのであれば現在の常任理事で計画は進められますが、開催時期について感染状況との兼ね合いでどうなるのでしょうか。

理事会で意見が出てこないという事は、その辺りの不透明な要因があるために出てこないのでは

ないでしょうか。

山本会長

10周年記念事業については、事業、積立金について総会で承認されているので実施します。

和田顧問

10周年記念事業は総会承認なので実施しなければいけません。

後は開催時期の問題です。内容は変更しながらも事業は実施しなければいけません。

山本会長

顧問からお話のあった、記念誌発行の問題もありますが、式典は会場で対面式で開催する方向で進めていけばよいですか。

和田顧問

今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、式典を開催している場合ではない状況が出てくる事も予想されます。

基本的には、リモートで、公開講演や感染症をテーマとした講演会等を計画してみてもうどうでしょうか。

記念誌は、経過年数が少ないので取りやめて、掲載予定の講演会の内容は編集委員会で発行すれば経費も低く抑えられるのではないのでしょうか。

予算は年間40万円ですか。

山本会長

現在、年間40万円を2年積み立てて80万円です。

和田顧問

65周年式典を企画した際、飲食について全て参加者の自己負担でした。会場費・記念誌発刊費用等で合計400万円の予算で運営していきました。

今回、80万円の中で記念誌を発刊して実行委員会を設けてやっていくとなると厳しいと思います。

予算を少し残して、80周年の方に充てるというの
も良いと思います。

10周年記念事業を行わないという事ではなく、
実施しても良いが開催の方法が昔とコロナ禍の現
在とでは変わってきているというのは役員誰しも
が感じている事だと思います。

それらを全て含めて、この理事会で決定するの
は無理ではないでしょうか。

次回以降の理事会で詰めていくか、実行委員会
に理事が数名入って検討を重ねていくしかないで
すね。

山本会長

現在の常任理事で検討していくと考えていまし
た。開催時期が決まればおのずと開催方法も

決まるとしています。

5月開催であればオンラインで。2023年1月開
催であれば、感染状況が分からないので併用開催
として計画を進め、どちらでも対応できる準備を
進めておくという考えでいました。

周年事業に関して、常任理事以外の意見を聞き
たいのですがどうでしょうか。

開催時期、方法、記念誌についてどうでしょう
か。記念誌は、DVDにする案も出ています。
DVDにする事で経費を削減する事が出来ます。

廣澤理事

周年事業について意見を聞かせて頂いて、記念
誌は10年では内容が少ないかもしれないので、取
りやめてしまうのも良いかと思っています。

式典の方ですが、WEB・会場併用のハイブリッ
ド形式という事で準備を進めておけば、会場に集
まる事が出来なくてもオンライン開催に移行でき
るのではないのでしょうか。

会場に集まる事ができる状況であれば、ハイブ
リッド形式のまま開催という形で良いと思います。

現段階ではWEBか会場型かを決めずにどちら
でも対応できる準備をして、開催時の感染状況に

応じて開催形式を決定するという事で良いのでは
ないでしょうか。

ですから、会場は事前に確保しておく必要があ
る事と、WEBのみで開催となればその時点で会
場はキャンセル。技師会事務所から式典を配信し
ても構わないと思います。それは常任理事の方で
検討をお願いします。

小林理事

廣澤理事の意見に私も賛同します。

式典の内容は基本的に来賓挨拶それから表彰が
メインになると思います。先ほど話にあった三重
県のように、関係者のみ集まって開催をする方法
も良いと思います。

ハイブリッド、WEBの2つの形式で開催準備
を進めておけば、感染状況によりどちらにも対応
が可能だと思います。

開催時期として対面式で開催できる可能性が高
い2023年1月が良いと思います。

記念誌の話ですが、顧問からのお話にあった通
り、65周年誌のような立派な記念誌となるとこの
10年だけだとなかなか難しいと思います。会長の
思いとしては、公益法人移行10年の節目に記録を
形として残しておきたいのではないのでしょうか。
そこは、形にとらわれることなく、10周年という
事で各方面からの祝辞等をまとめたものを発行す
る事と経費を考慮してDVDで会員の手元に届け
るのも良いと思います。

高橋副会長

記念誌ですが、小林理事が言われた通り公益社
団法人に移行して10年という事なので、先ほどの
意見の中で、公益社団法人として技師会が行って
きた事業を記念誌にまとめ、会員に報告する事も
意義があると思います。何も作らないというより
は、10年間運営してきた事業等も含めてもらいた
いと思います。

深澤副会長

常任理事会で検討していた時期と、現在と感染状況が全く変わってしまいました、現在の状況で考えると2022年5月開催は厳しいと思います。仮に5月WEBで開催するにしても、それまでの活動自体に制約があるため、準備を進めていく事も大変だと思います。

私としては2023年1月開催で企画を進めていくのが良いと思います。

記念誌についても、80周年で発刊するのであれば、高橋副会長からの発言にあったように、10年間の事業報告のような内容を入れてDVD等で記録を残すというので良いと思います。

山本会長

皆様のお意見をまとめます。式典は、開催時期は2023年1月とし、対面式+WEBのハイブリッド形式で準備を進める。

記念誌も10年間の公益社団法人として活動記録を残すような内容とする。

おおよそそのような内容でしょうか。

詳細を決めていくにあたり、周年事業、実行委員会について常任理事会で検討していきます。

常任理事会で検討していくので、第3回理事会の時にはもう少し具体的な案が出てきていると思います。

小林理事

開催を2023年1月に決定したとき、例年開催している新春公開講演会・アール祭と兼ねて開催なのか、名称を記念式典として講演会を開催するのか決めておいた方が良いと思います。

準備についても、新春公開講演会は学術委員が企画、運営をしていきます。周年事業は実行委員会が運営していくと思うので、役割も決めておいた方が良いと思います。

山本会長

新春公開講演会は式典の中の講演と兼ねて開催で良いと思います。

他に意見が無ければ承認を得なければいけないので、採決に入ります。

10周年記念事業について

式典は常任理事を実行委員とし、2023年1月開催予定。

WEB+対面式のハイブリッド形式で開催する方向で検討していきます。

計画案を12月の次回理事会に提案します。

以上の事案について承認をお願いします。

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

ありがとうございます。

周年記念事業については常任理事で検討をしていきます。

記念誌についても、式典の内容等に合わせて記念誌編集委員会で検討してもらいたいと思います。よろしくお願いします。

山本会長

日本放射線技師会より、会費未納の除籍者が全国に約300名。未納会費はJARTの分のみでおおよそ800万円を超えています。そのままにしておくのは良くないという事で、医療系諸団体、公益法人団体に動向を伺ったところ、債務の回収を行っている事が判明しました。

そこでJARTでも債務回収の業務委託を検討する事になりました。

1. 各都道府県会長あてに債務回収、外部委託や会費についてアンケートがきています。

現在、会費の請求は日本放射線技師会と各県放射線技師会の合算請求となっています。債務も合

算請求で良いか意見を求められています。

2. 債務回収には業務委託費用が掛かります。費用の均等割合負担に同意できるか回答を求められました。

県単位ではなかなか回収が難しいと思いますので、均等割合負担に同意したいと思います。

3. 債務回収委託開始時期について、日本放射線技師会は令和5年4月1日除籍者から対応を考えています。

これについては、来年度除籍者からの対応を検討すべきではないかと回答を考えています。

また、各県技師会会長から次のような質問が出ています。

Q1. 均等割合負担JARTと本会で折半するという事で良いでしょうか？

A：指摘の通りの運用を検討しております。

Q2. 代理人に債権回収を委託する場合、回収できるか否かに関わらず代理人に「着手金」等を支払う仕組みと、債務者から回収して初めて回収額に応じた代理人報酬を請求する仕組みの2通りがあります。

回収不履行の場合、前者では負債が増額してしまいます。今回検討されているのはどちらでしょうか。

A：後者の採用を考えています。いわゆる成功報酬のみで委託契約を考えているところです。

本県にとっても、債務回収は良い事だと思います。皆様のご意見を聞かせてください。

神谷理事

費用の件ですが、資料の中の均等割合負担という話と、成功報酬という話がありますが、そもそも最初に言われた『費用』とは何の費用を指しているのでしょうか。教えてください。

山本会長

ここに出てきた『費用』は業者に支払う委託費用の事です。支払う委託費用は成功報酬で契約を考えているという事です。

成功報酬の支払いは折半なのですが、会費の金額がJART14,000円、静放技8,000円で金額が違うのに折半はおかしくないかという意見もあります。

例えば、会費が合計22,000円で報酬が20%となると4,400円を成功報酬として支払います。

それを折半するので、双方2,200円ずつの支払いという事になります。

神谷理事

わかりました。費用は成功報酬で支払うという事です。

山本会長

今までは、0円だったものが回収できるようになるという事です。

本来、会費を払わずに退会するという事はあってはならない事だと思います。

静岡県のアンケートへ回答としては

1. 合算回収への同意
2. 費用の均等割り負担
3. 来年度から業務委託を検討する

でよろしいでしょうか。

小林理事

早い段階での業務委託というのはどれくらいの時期を想定していますか。

債務回収するにあたり、会員への周知がとても重要だと思います。

先ほど令和5年4月とありましたが、あと1年半ですね。それよりも早い時期に委託開始で来年度除籍対象者からの措置になると、会員への周知が心配です。

お金に関わる内容なので、会員への周知はとても大事だと思います。早い時期からというのであ

れば、静岡県放射線技師会として会員への周知方法を検討しておいた方が良いと思います。

山本会長

そもそも、会費を納めない会員が問題で、これからは債務が発生し、法的措置も発生する事になります。

現在でも何年も会費未納除籍者が存在するので、今からやっても問題はないと思います。ただ、現在除籍になっている方には情報が届かないですよ。会誌等が届いていないので、情報を目にする事が無いです。

小林理事

今検討されているのは、これからの会費未納除籍者への対応ですよ。現在、除籍扱いの方々を対象外ですか。

山本会長

その件については、日本放射線技師会の理事会で出ていません。

小林理事

私の中では、日本放射線技師会で債務回収を決定してから除籍者になる方への措置と認識していました。

いずれにしても、会誌・ホームページを通して周知していく事は大切な事だと思います

高橋副会長

確認したいのですが、会費を2年未納で除籍になる方の債務回収の話ですが、会費を納めれば除籍は無くなるという考え方ですか。

山本会長

現段階では、会費を納めれば再入会という事になると思います。

アンケートの回答に、実施開始までにしっかり

周知をすると加えて提出します。

山本会長

続いて、事務局からの提案についてです。

まず、水道から。手を洗うだけなら御手洗の水道で問題ないので、事務所の水道は必要ないのでと事務局からは意見を頂いています。

廣澤理事

コロナ禍以前は、事務所で会食し、食器を洗う事がありました。現在は、コロナ禍の影響で会食が無く使用する事はありませんが、将来的に使用する事を考えて契約は継続した方が良いのではないのでしょうか。

山本会長

私もそう思います。簡単に水を使える場所はあった方が良いと思います。

他に意見が無いようなので決を採ります。

事務所水道の廃止について

反対：13 保留：2 賛成：0

反対が過半数を超えたので水道は契約を継続します。

山本会長

もう一点、手当等の送金についてです。

今回の理事会でも手当がありますが、WEB開催のため送金が滞ってしまいます。

意見等ありますか。

深澤副会長

手当を振り込みにするというのは良い案だと思いますが、役員が変わるたび、個人で口座を用意しなければいけないという負担を各役員どう考

えるのか。

私自身は賛成です。

山本会長

振り込み手数料はかかりますが、技師会で負担して皆様の手元にタイムリーに届くようにしたいという事と、役員の手元に届かない手当てが、いつまでも事務所に置いておく事を解消できます。

深澤副会長

今、コロナ禍で特別な状況での企画運営を行っています。感染状況が落ち着けば年に数回は事務所に集まる事ができると思います。また、顔を合わせる事も必要だと思います。

東部地区会では、手当てを年間で集計して役員に渡しています。そういった方法も考えても良いと思います。

山本会長

手当ての振り込みについてはもう一度常任理事会で検討します。

次に企画申請書をお願いします。

廣澤理事

令和3年度東部地区会 第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会の企画申請書です。

目的として、第1回胃がん検診X線撮影従事者講習会の開催。令和3年11月6日土曜日14時から15時30分の90分です。会場はWEB講習会で、静岡県立静岡がんセンターから発信します。対象は静岡県放射線技師会東部地区会会員です。

講演内容は最新の胃がん手術ということで、静岡県立静岡がんセンター胃外科副医長・古川先生に「胃癌の外科治療～CTや上部消化管造影検査は治療選択にどう影響するか～」をお願いしました。質疑応答含め、90分の講演予定です。

次に予算です。参加者50名程を見込んでいます。

参加費は徴収しません。助成金20万円を使用します。まず支出の方です。講師講演料と役員手当、合計36,411円。会議費が幹事会、リハーサル等会議で45,000円見込んでいます。通信費24,420円はZoomのウェビナー契約料3ヶ月分です。雑費として、地区会より等広告費で15,000円見込んでいます。その他諸々合計で支出計121,831円。差引78,169円を第2回講習会へ持ち越します。

山本会長

質問、意見等無ければ承認の採決をとります。

東部地区会

第1回胃がんX線撮影従事者講習会企画申請書について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

鈴木理事

今の企画申請は日本放射線技師会にイベント申請しても良いですか。

廣澤理事

開催は決定しているので、申請をお願いします。

鈴木理事

承知しました。イベント申請します。

深澤副会長

企画報告と企画申請があります。

まず、生涯教育委員会からフレッシュャーズセミナーの報告書です。

令和3年7月4日開催。会場+WEBのハイブリッド形式での開催。計26名の参加がありました。かかった費用は日本放射線技師会から出ていますが、交通費の差額が7,440円ありました。この差額を静岡県放射線技師会で負担してもらい、差し引き0円で報告書が出ています。

山本会長

フレッシュャーズセミナーの費用は日本放射線技師会が全て負担してくれますが、日本放射線100km未満の特急料金を認めていないので、そこを静岡県放射線技師会で負担しています。

承認の採決をとります。

フレッシュャーズセミナーの報告書について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

深澤副会長

続いて企画申請書です

令和3年12月11日、第15回医療安全セミナーの企画申請です。

画像診断レポートの見落とし防止の内容を企画しています。

15時から「医療の質・安全性の向上と働き方改革を推進する統合診療支援プラットフォームについて」富士フイルムメディカル株式会社の講演。会員発表で島田市総合医療センター、国際医療福祉大学熱海病院で聖隷三方原病院の会員から施設の現状報告をするということで計画しています。

予算ですが、会費は徴収しません。発表者は現段階では事務所に来てもらいますので交通費が発生します。日当に関して、発表者含めて委員5名、WEBサポートを佐野理事にお願いします。6名分の日当6,000円。発表者謝礼3名分9,000円。合計で源泉込み16,224円です。事前打ち合わせに5,000円。支出合計が56,704円となります。

会告も作成してありますが、演目に仮がついて、演者名も入っていません。掲載時には全て整います。仮となっていますが承認をお願いします。

山本会長

意見、質問はありますか。

廣澤理事

会員発表に謝礼を出しても良いのですか。

深澤副会長

30分以内の発表で謝礼3,000円、60分で10,000円等の規程があります。

山本会長

他に質問等無ければ承認の採決をとります

第15回医療安全セミナーの企画申請について

反対：0 保留：0 賛成：15

(全会一致承認)

深澤副会長

会告は修正し提出します。

山本会長

他に申請等ありますか。

小林理事

今回の理事会の日程はって決まっていますか。

山本会長

12月18日土曜日です。

12月11日に医療安全セミナーもあります。西部地区勉強会の日程調整をお願いします。

小林理事

日程調整させていただきます。

神谷理事

今年度の1月に行われる新春公開講演会の概要、開催方法、開催日の決定はいつ頃ですか。

山本会長

日程は決まっています。開催形式についてですね。

総務・後藤理事をお願いします。

後藤理事

9月の常任理事会で協議するために資料作成中です。

開催形式、経費について資料を提出します。

神谷理事

9月以降に決まってくるという事ですね。

後藤理事

9月の常任理事会で協議し、会告が次号ジャーナルの掲載に間に合うよう決定します。

神谷理事

今の情勢を考えると、会場型での開催は厳しいと考えています。

昨年度と同様の開催方法を考えて進めていく形でよろしいでしょうか。

後藤理事

おそらく、昨年度と同様の開催方法になると思います。

山本会長

追加報告です。

JARTで放射線機器管理士分科会という分科会があります。その分科会の勉強会が12月26日、アクトシティ浜松で開催されます。開催にあたり、サポートの依頼がありました。西部地区会に2名程派遣をお願いしました。

対面型で企画していますが、今後どのような形で開催されるのかわかりません。

山本会長

日本放射線技師連盟からの依頼です。

国会唯一の放射線技師議員・畦元議員応援のために署名活動をお願いします。

役員の皆様にお申し、署名活動に協力してもらい多くの署名が集まっています。

昨日も事務所に305名分が届きました。私の所に328名分の署名があります。合計600名を超え、連盟に郵送しました。

全国での集約状況ですが、8月24日現在4,723名。三重県が一番多くて1,100名を超えています。

静岡県放射線技師会会員数が約900名なので1,000名を目標にしていますがまだ足りません。

各施設で、職種問わず署名の協力をお願いします。

畦元議員応援署名の目標は10万なんです、技師だけで5万は集めたいと言っていました。静岡だけで1,000名分を集めたいと思います。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

他、報告事項等無ければ、第2回理事会を終了します。

※議長が第2回理事会の終了を宣言したので、令和3年8月28日16時30分理事会を閉会。

議事録作成 森田 光博

行事予定カレンダー

(2021年12月～2022年3月)

12 月			1 月			2 月			3 月		
1	水		1	土	元 旦	1	火		1	火	
2	木		2	日		2	水		2	水	
3	金		3	月		3	木		3	木	
4	土		4	火		4	金		4	金	
5	日		5	水		5	土		5	土	中部地区総会 第2回放射線セミナー(中部) 第2回胃がん検診従事者講習会(中部) 第44回西部地区総会(中部) 第3回放射線セミナー(西部) 第2回胃がん検診従事者講習会(西部) 東部地区通常総会
6	月		6	木		6	日	第62回東海四県放射線技 師学術大会(三重県)	6	日	
7	火		7	金		7	月		7	月	
8	水	第13回静岡県MRI技術研究会(Web)	8	土		8	火		8	火	編集委員会(二校)
9	木	第17回常任理事会(事務所)	9	日		9	水		9	水	
10	金		10	月	成人の日	10	木	第21回常任理事会(事務所)	10	木	第23回常任理事会(事務所)
11	土	第15回医療安全セミナー	11	火		11	金	第35回乳腺画像部会研修会 (Web開催予定) 建国記念の日	11	金	
12	日		12	水		12	土		12	土	第14回静岡県MRI技術研究会 (Web予定)
13	月		13	木	第19回常任理事会(事務所)	13	日		13	日	
14	火		14	金		14	月		14	月	
15	水		15	土	新春公開講演会	15	火		15	火	
16	木		16	日		16	水		16	水	
17	金		17	月		17	木		17	木	
18	土	第3回理事会 第2回放射線セミナー(西部) 第1回胃がん検診従事者講習会(西部)	18	火		18	金		18	金	
19	日		19	水		19	土	第4回 理事会	19	土	静岡県放射線技師研修会
20	月		20	木		20	日		20	日	
21	火		21	金		21	月		21	月	春分の日
22	水		22	土	第46回放射線技師のためのセミナー	22	火	編集委員会(初校)	22	火	
23	木	第18回常任理事会(Web会議)	23	日	東部地区第2回放射線セ ミナー・胃がん検診X線 撮影従事者講習会(WEB)	23	水	天皇誕生日	23	水	
24	金		24	月		24	木	第22回常任理事会(Web会議)	24	木	第24回常任理事会(Web会議)
25	土		25	火		25	金		25	金	編集委員会(ジャーナル発行)
26	日		26	水		26	土	第6回 ワークライフバランス検 討委員会勉強会(WEB予定)	26	土	
27	月		27	木		27	日		27	日	
28	火		28	金	第20回常任理事会(Web会議) 静岡県原子力防災実働訓練 原子力災害想定の情報伝達訓練	28	月		28	月	
29	水		29	土					29	火	
30	木		30	日					30	水	
31	金		31	月					31	木	

*都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。

*日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

編集後記

* 告示研修の基礎研修が始まりました。私は5項目のうち4項目まで終わりましたが、項目ごとに確認試験があり全問正解しないといけません。下部消化管検査の確認試験が難しく合格するのが大変でした。残りの1項目も早めにクリアしたいと思います。 遠藤

* 最近では技師会活動も編集委員会のみになってしまいました。60代後半になり、あと何年現役で仕事を続けられるだろうか？自分の健康を気にしながらの毎日です。 三輪

* 最近では県内のコロナウイルス感染者数も1日数人以下に減り、長かったコロナ禍もようやく終わりが見えてきました。このまま終息してくれることを願います。 杉山

* 全くの私事で恐縮なのですが、この数年深夜帯に自宅近辺を無性に散歩したくなる習性（いわゆる徘徊癖でしょうか）が続いており、実際気晴らしに歩き回っている次第です。果たしてこれは健康上よろしくない事になる前触れなのでしょうか。 常葉

* 先日秋野菜を栽培するため、畑にトラックでもらって保管してあった堆肥を撒こうとしたところ、カブトムシの幼虫が大量に出てきました。野菜を育てるより、カブトムシを育てた方が、お金になるかもと欲が出てきました。 堀

* 緊急事態宣言が解除され、先日義母が久しぶりにやってきました。静岡に用事がありついでに寄ってくれたのですが、短い滞在時間にもかかわらず、家の周りすべての草取りをしてくれました。本当に感謝です。長生きしていただき、親孝行が出来たらと思います。 渡邊

会誌「しずおかジャーナル」Vol.31 No.2 2021 令和3年11月26日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

公益社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 山本 英雄

編集者 : 遠藤 基生

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号
TEL (054) 255-4862 FAX (054) 253-2309

事務所案内

執務時間 : 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで TEL (054) 251-5954

執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。 FAX (054) 251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp